

平成 30 年度
瀬戸内海国立公園
大久野島の利用に関する意識調査業務
報告書

平成 31 年 3 月

中国四国地方環境事務所
株式会社 一成

目次

目次	3
1 業務概要	1
1-1. 業務の目的	1
1-2. 業務の内容	1
1-3. 業務実施箇所	2
1-4. 工期等	2
2 打合せ	3
2-1. 打合せ	3
3 アンケート結果	4
3-1. アンケート回収状況	4
3-2. 回答者の概要	4
3-3. 同行者	5
3-4. 来島回数	6
3-5. 来島目的	10
3-6. 来島した感想（好感を持ったこと）	13
3-7. 来島した感想（気になったこと）	16
3-8. ルール・マナーに関する意識	21
3-9. ウサギのエサやりに対する意識	25
3-10. 瀬戸内海国立公園の認知度	37
3-11. 大久野島に関する意見や感想など（自由記述）	39

【資料編】

- ・ アンケート調査票（様式）

1 業務概要

1-1. 業務の目的

瀬戸内海国立公園内に位置する大久野島には、飼い主のいないアナウサギ（以下「ウサギ」という。）が野外に生息し、長年にわたり公園利用者による餌付けや水やりなどが行われてきた。野生状態に近いウサギと身近にふれあえると話題になり、近年は国内外から多くの公園利用者が訪れている。ウサギが新たな観光資源となっている一方で、近年の公園利用者の急増による給餌量の増加に伴いウサギの個体数密度も増加傾向にある。ウサギの密度の増加により、感染症の発生リスクや咬傷事故など利用者への影響、植生の荒廃や法面崩壊等の公園管理上の問題、ウサギ自体の健康状態の悪化等が懸念されている。

本業務では、大久野島の利用者に対し、大久野島の利用状況、ウサギの現状等についての意識調査を実施し、利用者が考える大久野島の課題について把握することで、今後の公園利用のあり方を検討する上での一助とすることを目的とした。

1-2. 業務の内容

(1) 事業実施計画の策定

本業務開始時に、業務実施に関する打合せを環境省 中国四国地方環境事務所 広島事務所で行った。打合せ時には、業務全体のスケジュール、調査方法、調査計画等を含めた「業務実施計画」を作成・提出し、中国四国地方環境事務所国立公園課担当官（以下、「担当官」という。）の了解を得た。また、業務の実施にあたっては、担当官と密に連絡調整を行い、業務を進めた。

(2) 大久野島の利用者への意識調査

大久野島の利用者を対象に、大久野島の利用状況やウサギに関する意識調査を 3 回程度（計 150 回答程度を想定→206 回答回収）実施した。調査実施日時は休日の 10 時～17 時とし、3 回の調査のうち少なくとも 1 回は 3 月の休日に実施した。調査は日本人を対象とし、回答は主に選択形式（選択形式の質問を 10 問、最後に自由記述形式の質問を 1 問設けた。）で、対面での聴き取り調査を実施し、その場で調査票（A4 サイズ、1 部あたり 3 頁、資料編を参照）を回収する方式で実施した。

調査票は回収率を考慮し、各回 100 部程度用意した。調査票（質問項目及び回答の選択肢）の作成、実施場所、日程等については、担当者との協議の上、決定した。調査実施後は、結果の集計及びとりまとめを行った。質問項目は、以下を参考に作成した。

<質問項目の参考>

- ・来島目的や来島頻度等、利用状況に関すること。
- ・大久野島に来島した感想。
- ・ウサギへの餌やり等に関すること。
- ・大久野島の利用のあり方やウサギとの関わり方に関すること。

(3) ビジターセンター等における意識調査

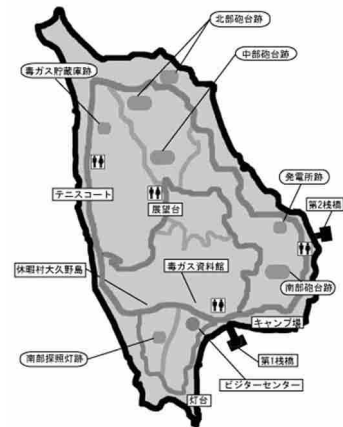
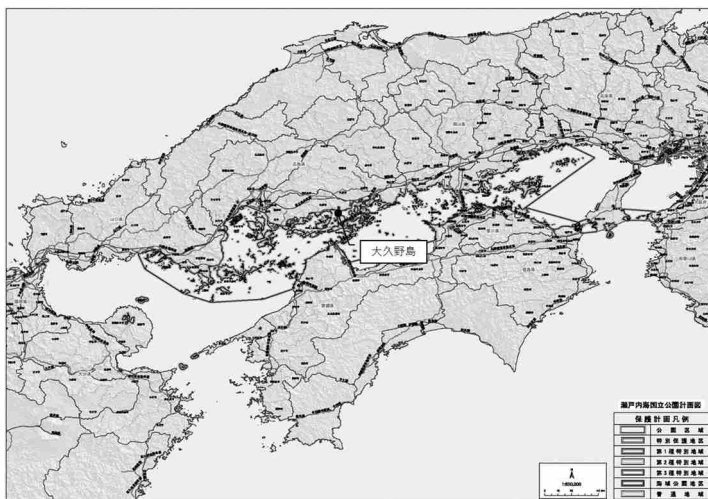
(1) で作成した調査票及び調査票の回収箱を大久野島ビジターセンター等に一定期間（第1回調査日～第3回調査日）設置し、利用者からの回答を集めた（30回答程度を想定。→54回答を回収）。調査票は回収率を考慮し、少なくとも100部程度用意した。調査実施後は、結果の集計及びとりまとめを行った。

(4) 報告書作成

(1)～(3)の結果を取りまとめた業務報告書を作成した。

1-3. 業務実施箇所

瀬戸内海国立公園大久野島（図1）を対象とした。



大久野島

図1 業務区域

1-4. 工期等

- (1) 業務名 平成30年度瀬戸内海国立公園大久野島の利用に関する意識調査業務
- (2) 業務期間 平成31年1月21日～平成31年3月29日
- (3) 発注者 中国四国地方環境事務所 国立公園課
- (4) 受注者 株式会社 一成

2 打合せ

2-1. 打合せ

本業務開始に先立ち実施方針および調査票の内容等に関する打合せを行った。打合せ結果は、表 1 の通りである。

表 1 打合せ結果

日時	平成 31 年 2 月 1 日（金） 10 : 00～11 : 00	
場所	中国四国地方環境事務所 広島事務所	
打合せ 概要	目的	島内に長年生息しているアナウサギについて、近年の公園利用者の増加に伴い給餌量が増え、ウサギの個体数も増加している状況である。これにより、公園利用者への感染症発生のリスク、ウサギが食べ残した餌による衛生面の問題、残された餌を食べるイノシシやクマネズミの増加等の様々な問題が発生していることから、今後の検討の基礎データとして、公園利用者が考える課題（現状認識）を把握することを目的とする。
	意識調査	2月～3月中旬の土日祝日のうちから3日の調査日を、請負者で設定する。また、天候の状況を考慮し、調査日を決定し、発注者に連絡する。土日連続での調査は行わない。 ヒアリング対象は、船を下りた直後の人ではなく、ある程度島を満喫した人とする。また、対象は10代以上とする（小さい子供は、親と来島していると思われるため）。 回答に協力いただいた方には、粗品（環境省から後日支給）を渡す。
	調査票の設置	最初の調査日にビジターセンターに設置し、最終日の帰るときに回収する。

3 アンケート結果

3-1. アンケート回収状況

アンケート回収状況は、表 2 の通りである。なお、一部の回答には、アンケートの基準に準じない回答（1 者当たり 3 事項まで選択を可能とする設問に対して 4 事項以上選択している回答等）が見られるが、全ての回答を有効とし集計した。集計におけるアンケートの基準に準じない回答の詳細は、後項 2-2 における各設問に示す。

表 2 アンケート回収状況

	調査日	回答件数			
大久野島の利用者への意識調査	2月16日（土）	68	206	260	
	2月24日（日）	71			
	3月2日（土）	67			
ビジターセンター等における意識調査	2月16日（土）～2月23日（土）	26	54		
	2月23日（土）～3月2日（土）	28			

3-2. 回答者の概要

回答者の居住地、性別、年代、同行者は、表 3 の通りである。

表 3 回答者の居住地、性別、年代、同行者

概要	件数
居住地	広島県内：107名（41%） 内訳 広島市 45名、東広島市 18名、尾道市 8名、福山市 8名、府中市 7名、竹原市 4名、安芸高田市 3名、三原市 3名、廿日市市 3名、安芸郡海田町 2名、庄原市 1名、呉市 1名、三次市 1名、無回答 3名
	広島県外：153名（59%） 内訳 大阪府 24名、東京都 24名、兵庫県 15名、愛媛県 11名、岡山県 11名、神奈川県 9名、京都府 8名、熊本県 5名、奈良県 5名、福岡県 5名、山口県 5名、島根県 4名、千葉県 3名、愛知県 3名、埼玉県 3名、静岡県 3名、香川県 2名、宮城県 2名、滋賀県 2名、北海道 1名、大分県 1名、茨城県 1名、香港 1名、ニューヨーク 1名、無回答 4名
性別	男性 138名（53%）、女性 119名（46%）、無回答 3名（1%）
年代	10代 13名（5%）、20代 82名（32%）、30代 47名（18%）、40代 60名（23%）、50代 34名（13%）、60代 14名（5%）、70代 5名（2%）、80代 2名（1%）、90代 1名（0.4%）、無回答 2名（1%）

3-3. 同行者

設問	
問1：今回は、どなたと来島されましたか。	
①個人	②家族 ③カップル ④友人 ⑤その他 ()

◆同行者

回答者（260人）の同行者は、家族が最も多く、次いで友人であった（図2）。

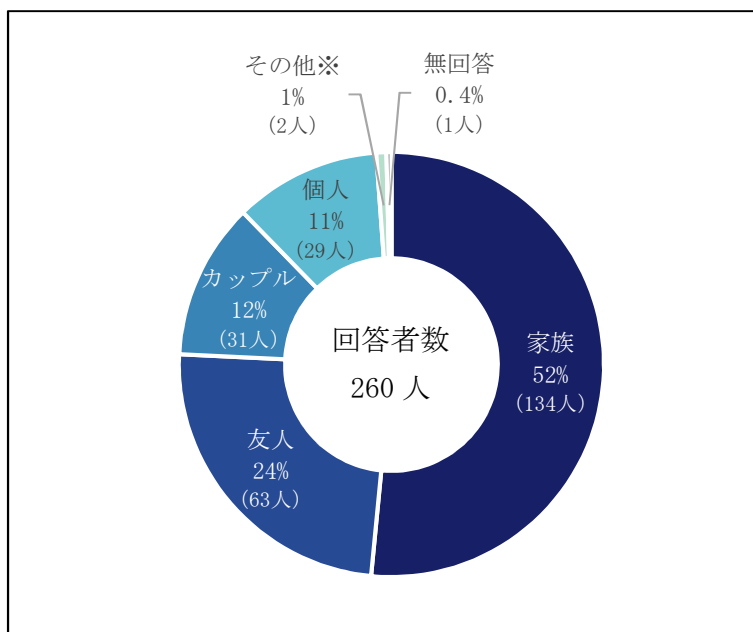


図2 同行者

※図2（同行者）の「その他」の回答内容

ホームステイ（1人）、カメラグループ（1人）

3-4. 来島回数

設問
問2：今まで大久野島に何回訪れたことがありますか？ ①初めて ②2～4回 ③5回以上
問2-1：問2で大久野島に複数回、訪れたことのある方にお伺いします。平均して大久野島に何回程度訪れていますか？ ①（ ）回／月 ②（ ）回／年 ③ その他（ ）

◆回答者全体の結果

回答者（260人）の来島回数は、1回目（初めて）が155人（約60%）、2～4回目が60人（約23%）、5回目以上が45人（約17%）であった（図3）。

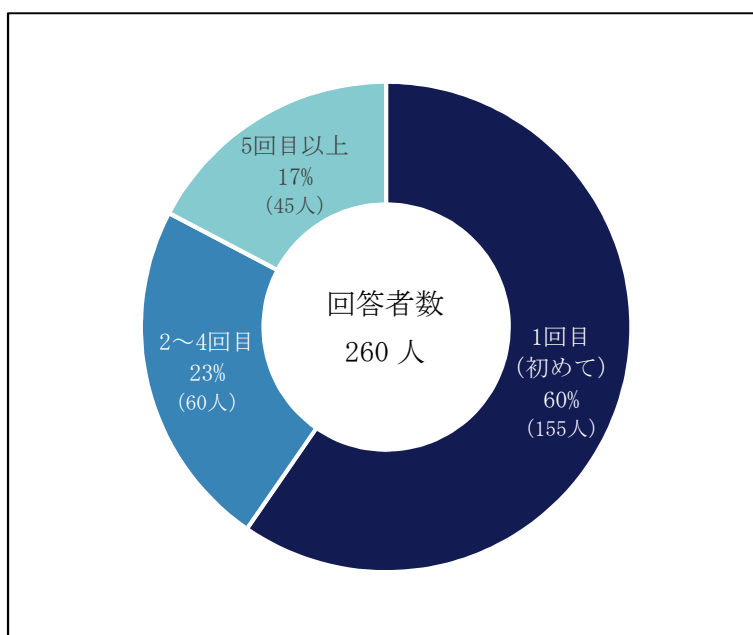


図3 来島回数

◆来島回数と居住地

来島回数を回答者（260人）の居住地で比較したところ、1回目（初めて）は広島県外からの来島者が多いが、複数回訪れている来島者は県内外で大きな違いは見られなかった（図4）。また、5回以上の来島者は、大久野島に近い広島県内や近畿地域、中国地域（広島県を除く）が多いものの、関東地域や中部地域、九州地域も見られた（図5）。

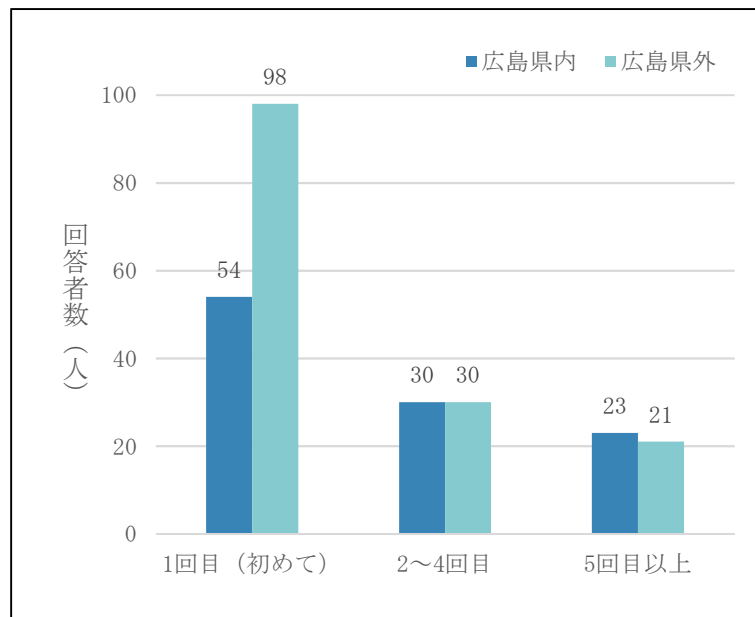


図4 来島回数別の居住地（広島県内外）

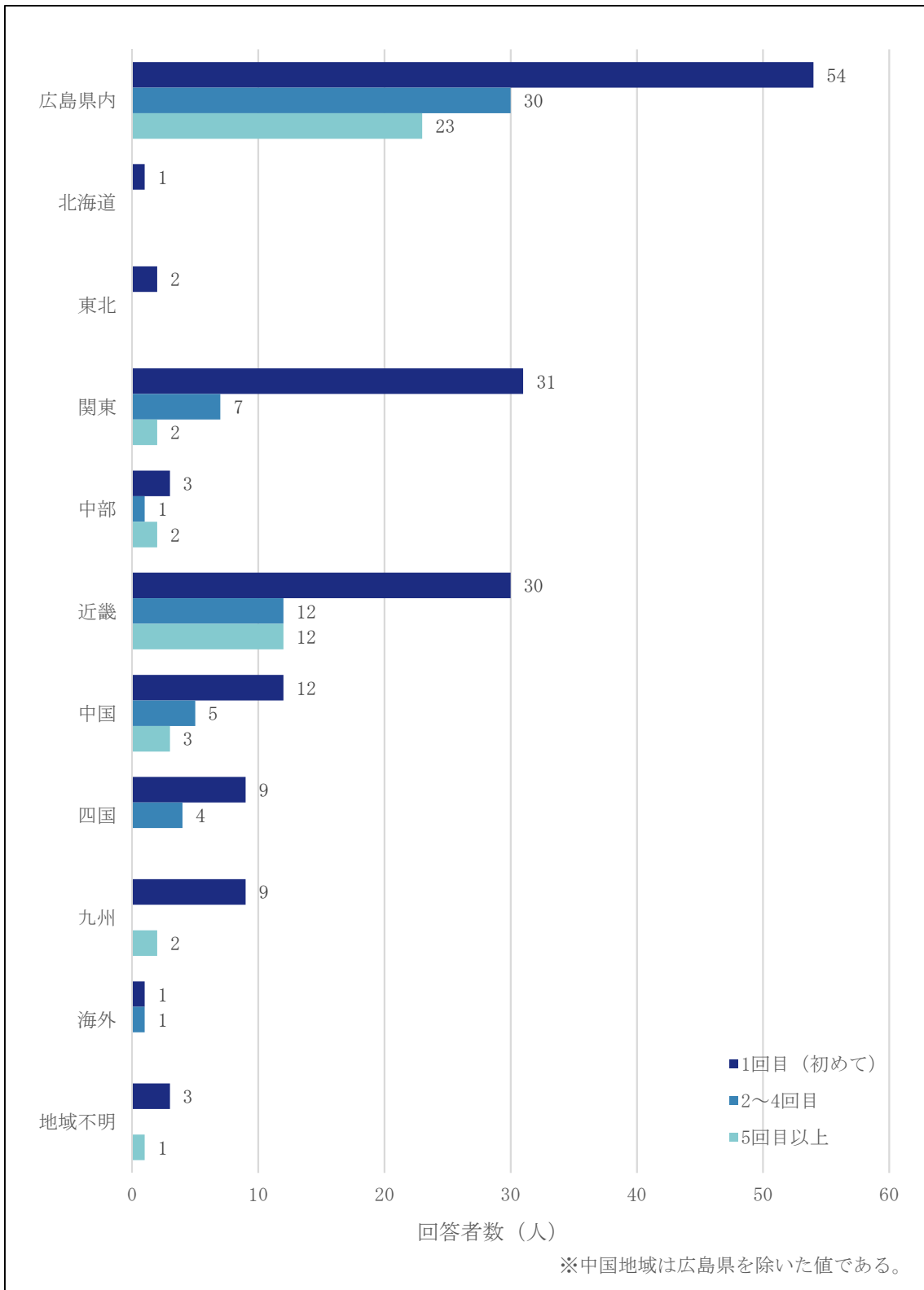


図 5 居住地域別の来島回数

◆複数回訪れる人の年間当たりの来島回数

複数回訪れている回答者（105人）の1年間当たりの来島回数は、1回が最も多く、次いで1回未満であった。2回（半年に1回）や6回（2か月に1回）、12回（毎月）といった回答も1回未満に次いで多く、定期的に来島するリピーターがいることが推測された（図6）。

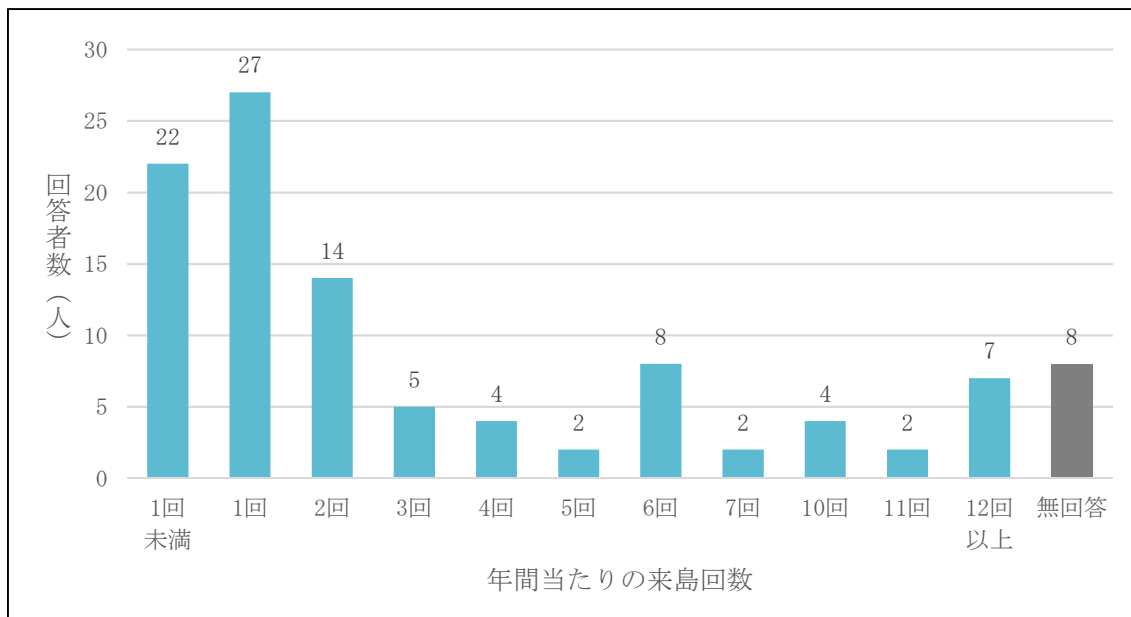


図6 複数回来島者における年間当たりの来島回数

3-5. 来島目的

設問		
問3：今回、大久野島を訪れた目的について、当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。		
①自然散策	②キャンプや魚釣りなどアウトドア	③戦争遺跡の見学
④ウサギとのふれあい	⑤観光（宿泊・温泉含む）	
⑥その他（		）
問3-1：問3で「④ウサギとのふれあい」を目的に選んだ方にお伺いします。特にどのようなことを楽しみに訪問されましたか。当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。		
①ウサギの様子を眺める	②エサやり	③写真撮影
④ウサギを直接さわったり抱っこする		
⑤ウサギの保護活動（定期的な島内の見回り、エサやり、水やりなど）		
⑥その他（		）

◆回答者全体の結果

回答者(260人)の約93%が「ウサギとのふれあい」を目的に来島し、次いで「自然散策」、「戦争遺跡の見学」を目的とする人が多かった(図7)。

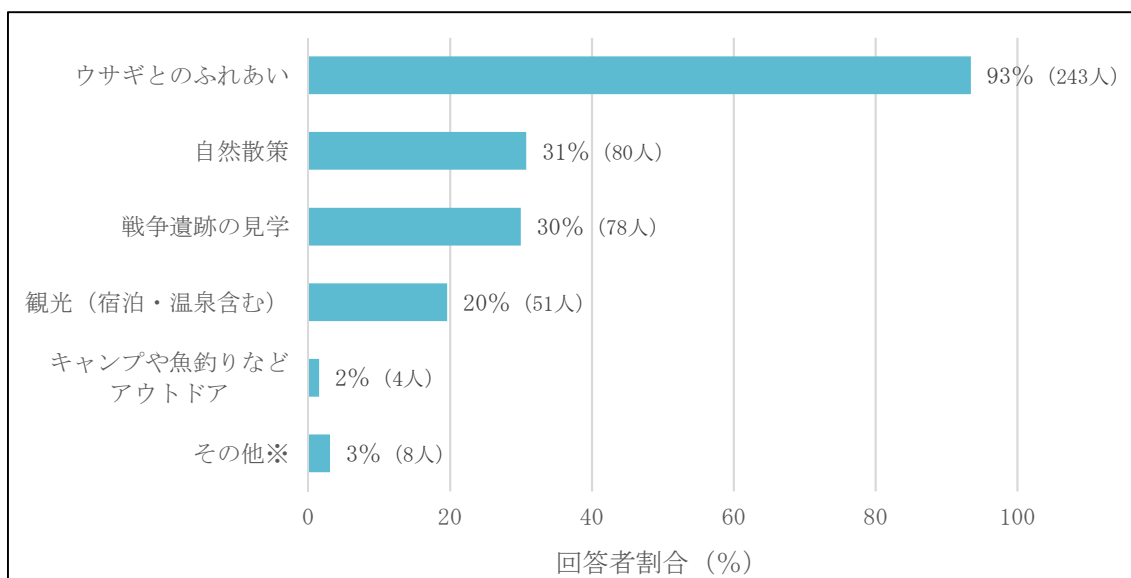


図7 来島目的

※図7(来島目的)の「その他」の回答内容

・ウサギの撮影のため	・夕日とウサギの写真を		
・ウサギの安否確認、水入れ、ご飯	・リピーター仲間		
・写真	・彼女との和解	・外国人訪問客接待の為の下見	・送別会

◆来島回数と目的

回答者（来島1回目（初めて）155人、2～4回目60人、5回目以上45人）の来島目的を来島回数別に比較したところ、来島回数が多くなるほど「ウサギとのふれあい」や「観光（宿泊・温泉含む）」を目的とする人の割合が多くなった（図8）。なお、本項目については、1者当たり3事項まで選択を可能としたが、4事項選択している回答が1件含まれる。

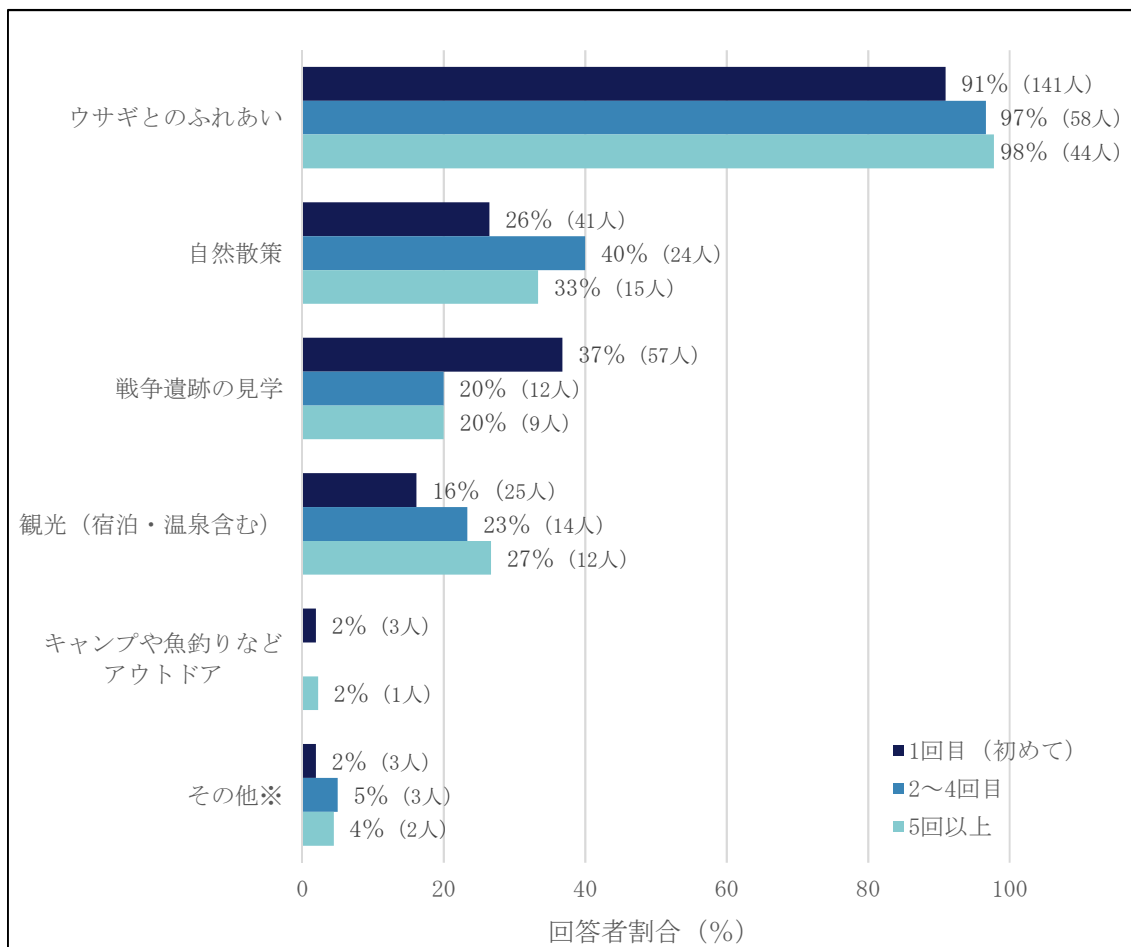


図8 来島回数別の目的

※図8（来島回数別の目的）の「その他」の回答内容

来島回数	その他の回答内容
1回目（初めて）	・彼女との和解 ・送別会 ・外国人訪問客接待の為の下見
2～4回目	・写真 ・ウサギの撮影のため ・夕日とウサギの写真を
5回目以上	・リピーター仲間 ・ウサギの安否確認、水入れ、ご飯

◆来島回数別の「ウサギとのふれあい」についての詳細な目的

「ウサギとのふれあい」を目的とした回答者（来島1回目（初めて）141人、2～4回目58人、5回目以上44人）のウサギに関する詳細な目的は、「ウサギの様子を眺める」や「エサやり」、「写真撮影」が多いが、来島回数が多くなるほど、「ウサギの保護活動」を目的とした来島が多くなった（図9）。また、「ウサギを直接さわったり抱っこする」ことは、注意看板等で行わないよう周知しているが、1回目（初めて）の来島者ほど、ウサギをさわったり抱っこすることを目的としていることが分かった。なお、本項目については、1者当たり3事項まで選択を可能としたが、4～5事項選択している回答が8件含まれる。

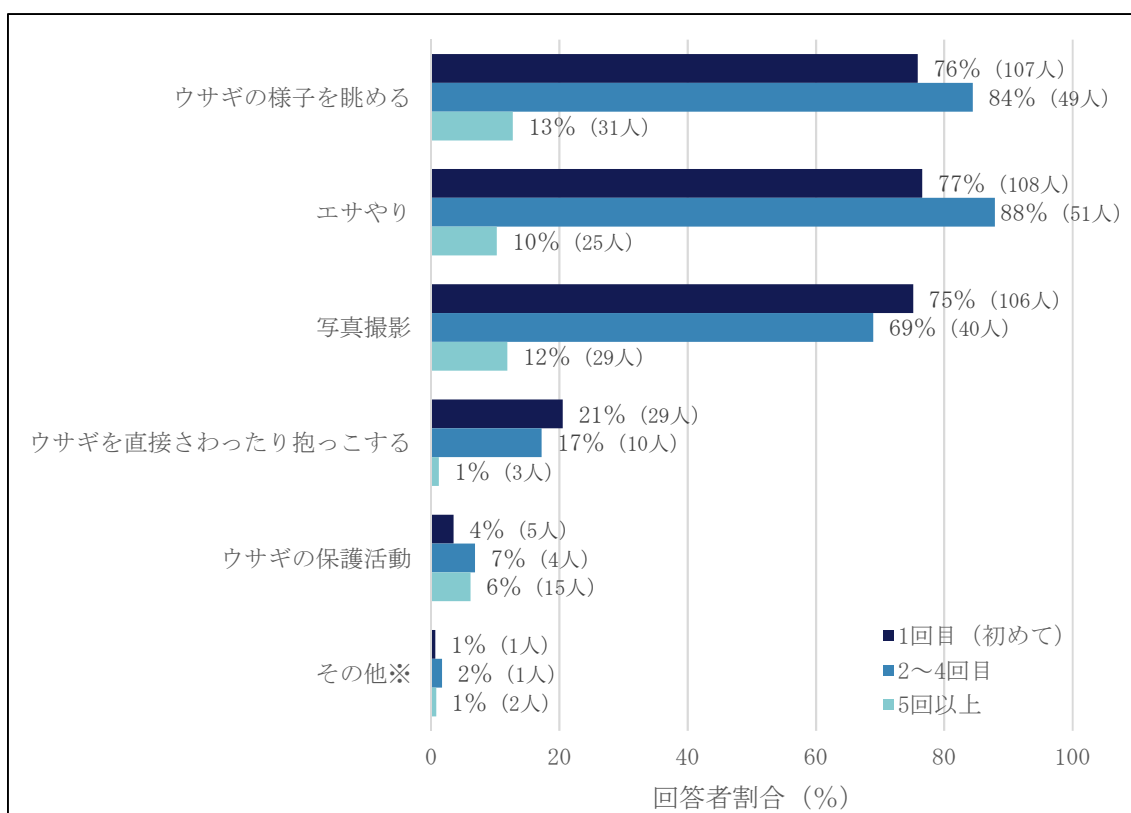


図9 来島回数別の「ウサギとのふれあい」についての詳細な目的

※図9（来島回数別の「ウサギとのふれあい」についての詳細な目的）の「その他」の回答内容

来島回数	その他の回答内容
1回目 （初めて）	・ SNS で見たことのある珍しいウサギを探しに来た。
2～4回目	・ 動物といると心が癒される。
5回目以上	・ この島で仲良くなった方たちと又お顔をみたいため ・ 観察

3-6. 来島した感想(好感を持ったこと)

設問
問4：大久野島を訪れてみて、良かったと思うことを3つまで選んで○をつけてください。 ①瀬戸内海の自然の風景を見ることができた。 ②自然の中でのんびり過ごすことができた。 ③戦争や毒ガスについて学ぶことができた。 ④ウサギとふれあうことができ楽しかった。 ⑤おいしい食事や温泉を満喫できて、ゆっくりすることができた。 ⑥その他（ ）

◆回答者全体の結果

回答者（260人）が来島して良かったと思ったことは、「ウサギとふれあうことができ楽しかった」が最も多く、次いで「瀬戸内海の自然の風景を見ることができた」「自然の中でのんびり過ごすことができた」であった（図10）。なお、本項目については、1者当たり3事項まで選択を可能としたが、4～5事項選択している回答が7件含まれる。また、2件の無回答は、選択肢に当てはまる事項がなかったためであることが考えられる。

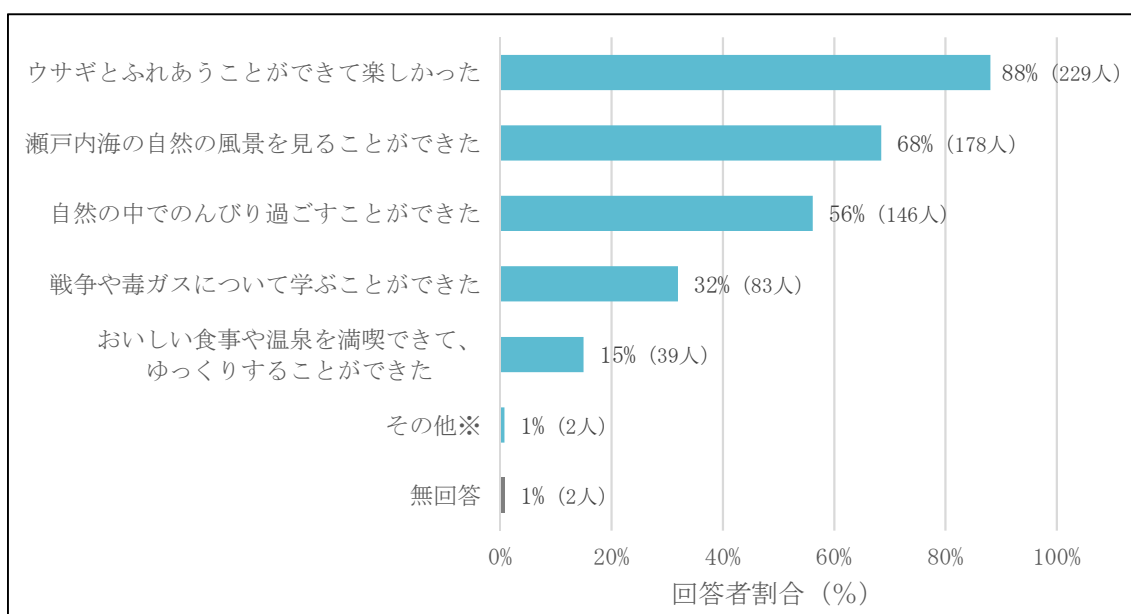


図10 好感を持ったこと

※図10（好感を持ったこと）の「その他」の回答内容

- ・廃墟を見て知ることができた。
- ・温泉がよかった。

◆自然に対する好感

自然に関する来島目的として「自然散策」を選択した回答者は全体の約31%、「キャンプや魚釣りなどアウトドア」は約2%であったことに対し（図7）、好感を持った事項として「瀬戸内海の自然の風景を見ることができた」と回答した人の割合は約68%、「自然の中でのんびり過ごすことができた」は約56%となっており（図10）、実際に来島したことで大久野島の自然に対して好感を持った人が増えた傾向が見られた（図11）。

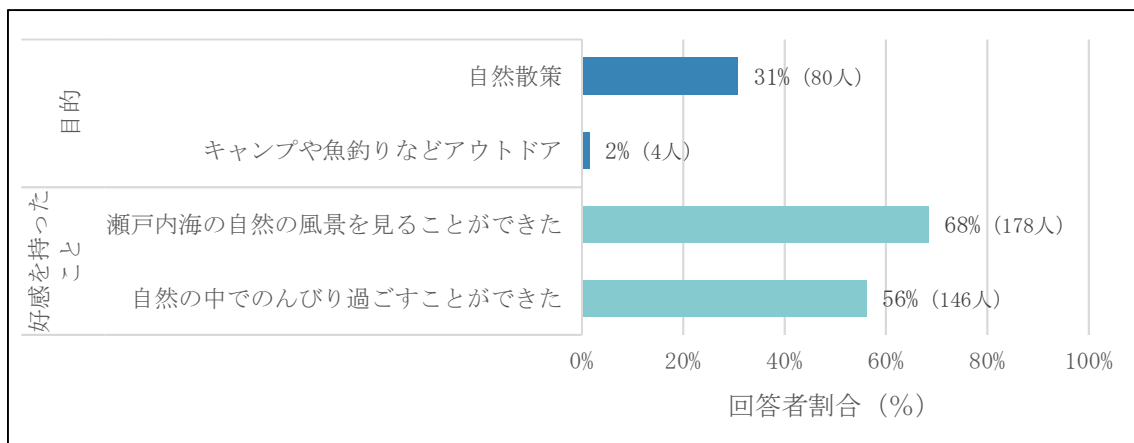


図11 自然に対する好感

◆戦争遺跡に対する好感

「戦争遺跡の見学」を来島目的とした回答者は全体の約30%であったことに対し（図7）、好感を持った事項として「戦争や毒ガスについて学ぶことができた」と回答した人の割合は約32%（図10）で微増であった（図12）。

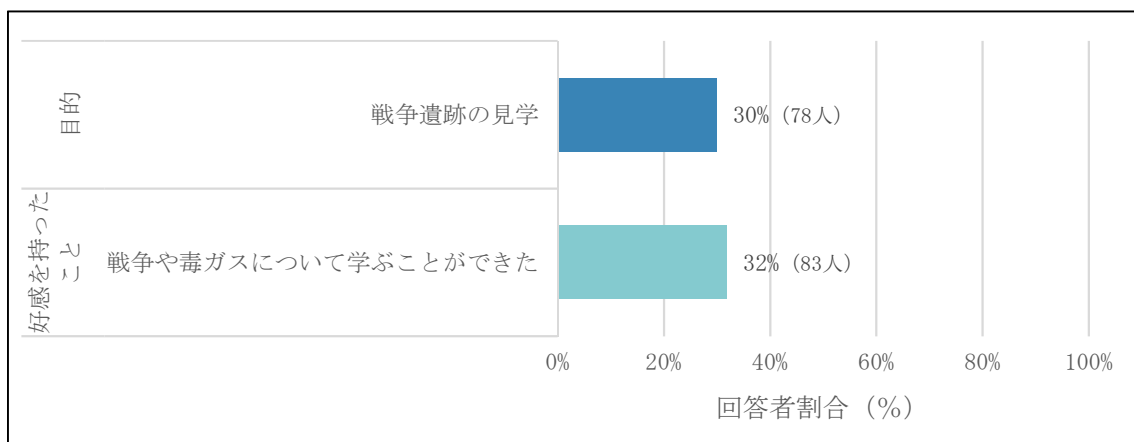


図12 戦争遺跡に対する好感

◆ウサギとのふれあいに対する好感

「ウサギとのふれあい」を目的とした回答者は全体の約93%であったことに対し(図7)、好感を持った事項として「ウサギとのふれあうことができて楽しかった」と回答した人の割合は約88%(図10)で減少が見られた(図13)。

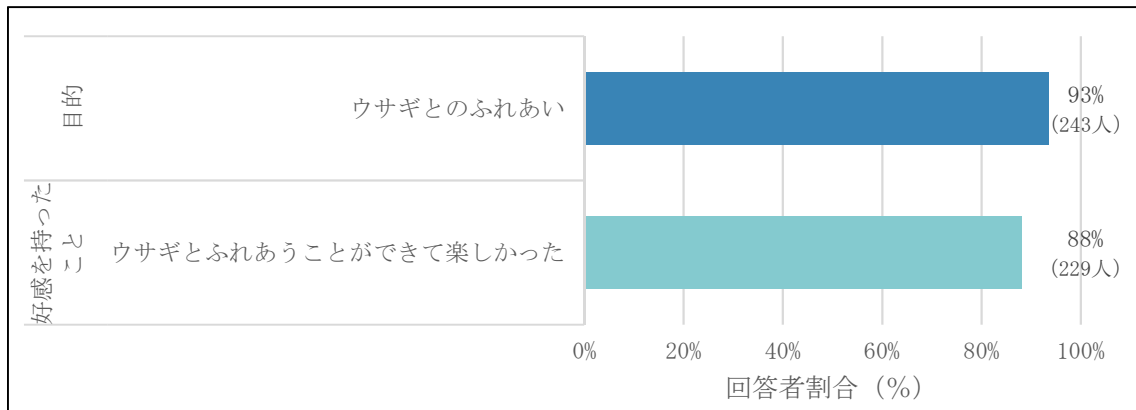


図13 ウサギに対する好感

◆観光(宿泊・温泉・食事)等に対する好感

「観光(宿泊・温泉含む)」を目的とした回答者は全体の約20%であったことに対し(図7)、好感を持った事項として「おいしい食事や温泉を満喫できて、ゆっくりとすることができた」と回答した人の割合は約15%(図10)であった(図14)。

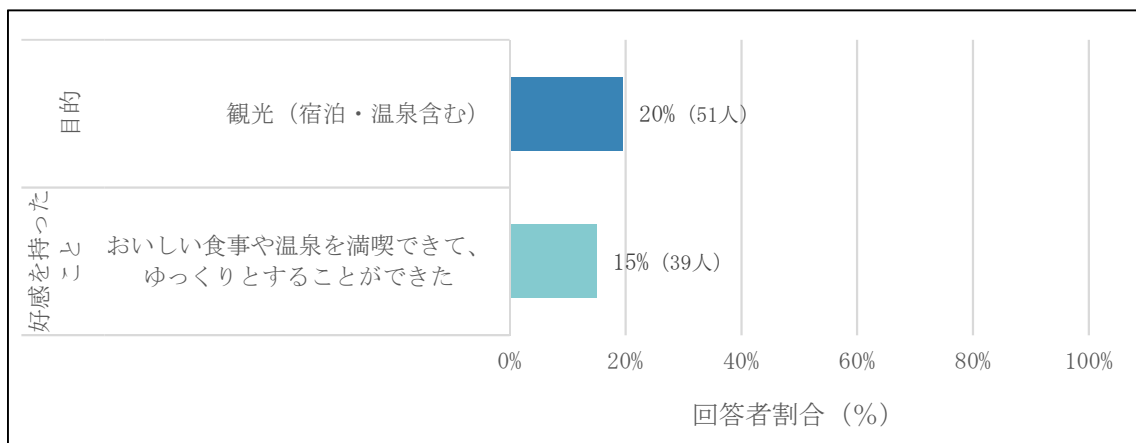


図14 観光(宿泊・温泉・食事)等に対する好感

3-7. 来島した感想(気になったこと)

設問
問5 大久野島を訪れてみて、気になったと思うことを3つまで選んで○をつけてください。
①混雑していて、駐車や乗船に時間を要した。
②自転車を乗っている人のマナーが悪く、危険だと思った。
③自転車の運転中、ウサギが車道に飛び出して危なかった。
④ウサギとのふれあいマナーが気になった（車道でのエサやり、エサの放置、ウサギの抱っこなど）。
⑤ウサギが嘔みついてケガをする心配があった。
⑥ウサギのフンやネズミなどが不衛生だと思った。
⑦ケガや病気のウサギがかわいそうだと思った。
⑧ウサギが食べて野生の草花が見られない、根元が掘り返され樹木が枯れている。
⑨ウサギが地面や斜面などに穴を掘って危険だと思った。
⑩その他（ ）

◆回答者全体の結果

回答者（260人）が来島により気になったことは、「ケガや病気のウサギがかわいそうだと思った」が最も多く、次いで「ウサギとのふれあいマナーが気になった」であった（図15）。なお、本項目については、1者当たり3事項まで選択を可能としたが、4事項選択している回答が2件含まれる。また、無回答（53件）が多かったのは、選択肢に当てはまる事項がなかったためであることが要因の1つとして考えられる。

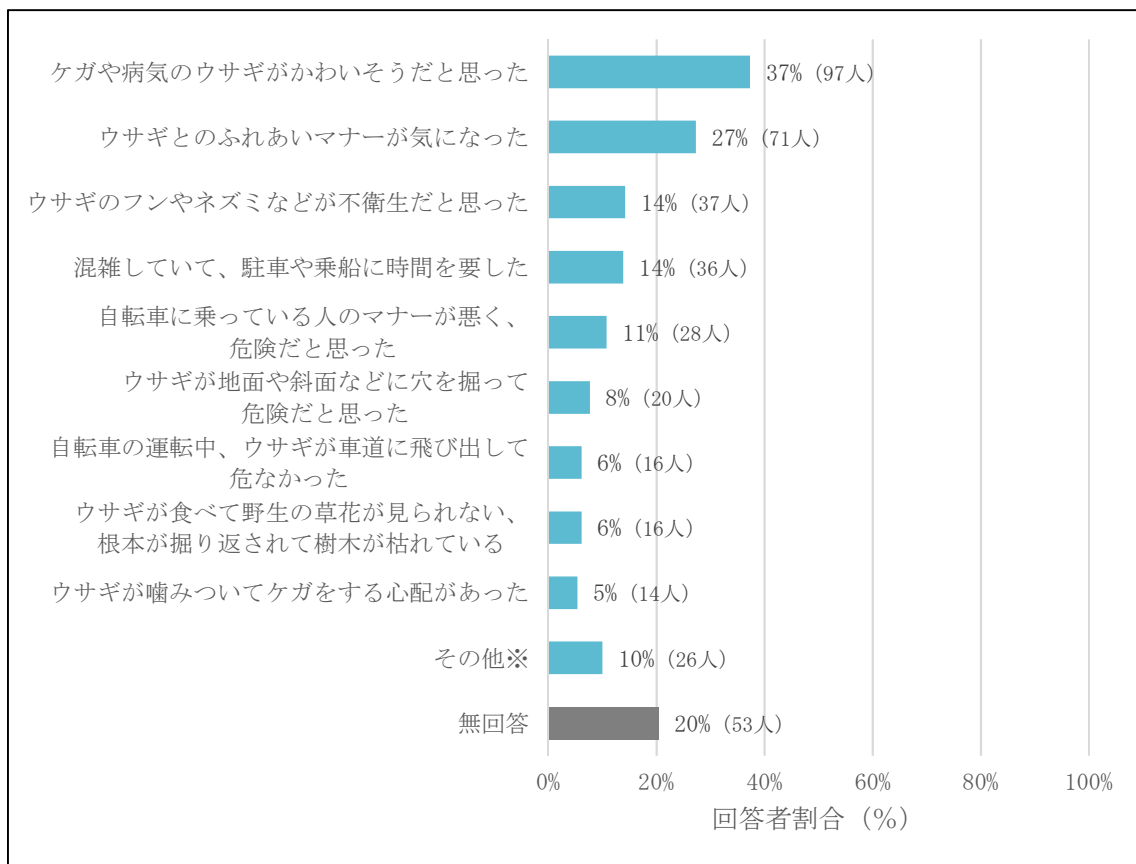


図15 気になったこと

※図 15 (気になったこと) の「その他」の回答内容

- ・船の人の愛想のなさ
- ・工事がずっと続いている。
- ・禁止看板が多く見た目がイマイチ
- ・使用されてない階段の老化、立ち入り禁止場所の多さ
- ・ウサギにスーパーで買った野菜をあげている方がいらっしゃったのですが生のサツマイモのようなものを持っていて気になりました。あげるエサについての注意喚起を増やして頂きたいです。
- ・ウサギが思ったより少ない。
- ・立入禁止の場があるが理由がわからないこと
- ・観光客が多い。
- ・ウサギの数が増えた分、エサとなる野生の草花等が減った。
- ・夜イノシシが走っていた。危険に思いました。
- ・ネズミが出てきた。
- ・船の本数が少ない。
- ・休暇村の建物の外にネズミが2匹いた。増えないか心配。
- ・裏手にゴミが多かった。
- ・もっと他の砲台なども見たかった。
- ・届け出なしの撮影、ドローン、芝生内焚火 タバコのポイ捨て、犬等ペット連れの上陸、観光客のマナーが悪すぎて驚く (毎回)。
- ・ネズミの菌がこわいです。
- ・特になし・今のままで良い (9人)

◆来島回数別の気になったことの傾向

無回答を除く回答者（207人）の気になったことについて来島回数別に比較したところ、来島回数が多くなるほど、「ウサギとのふれあいマナーが気になった」や「自転車に乗っている人のマナーが悪く、危険だと思った」と回答する人の割合が多くなった（図16）。なお、本項目については、1者当たり3事項まで選択を可能としたが、4事項選択している回答が2件含まれる。

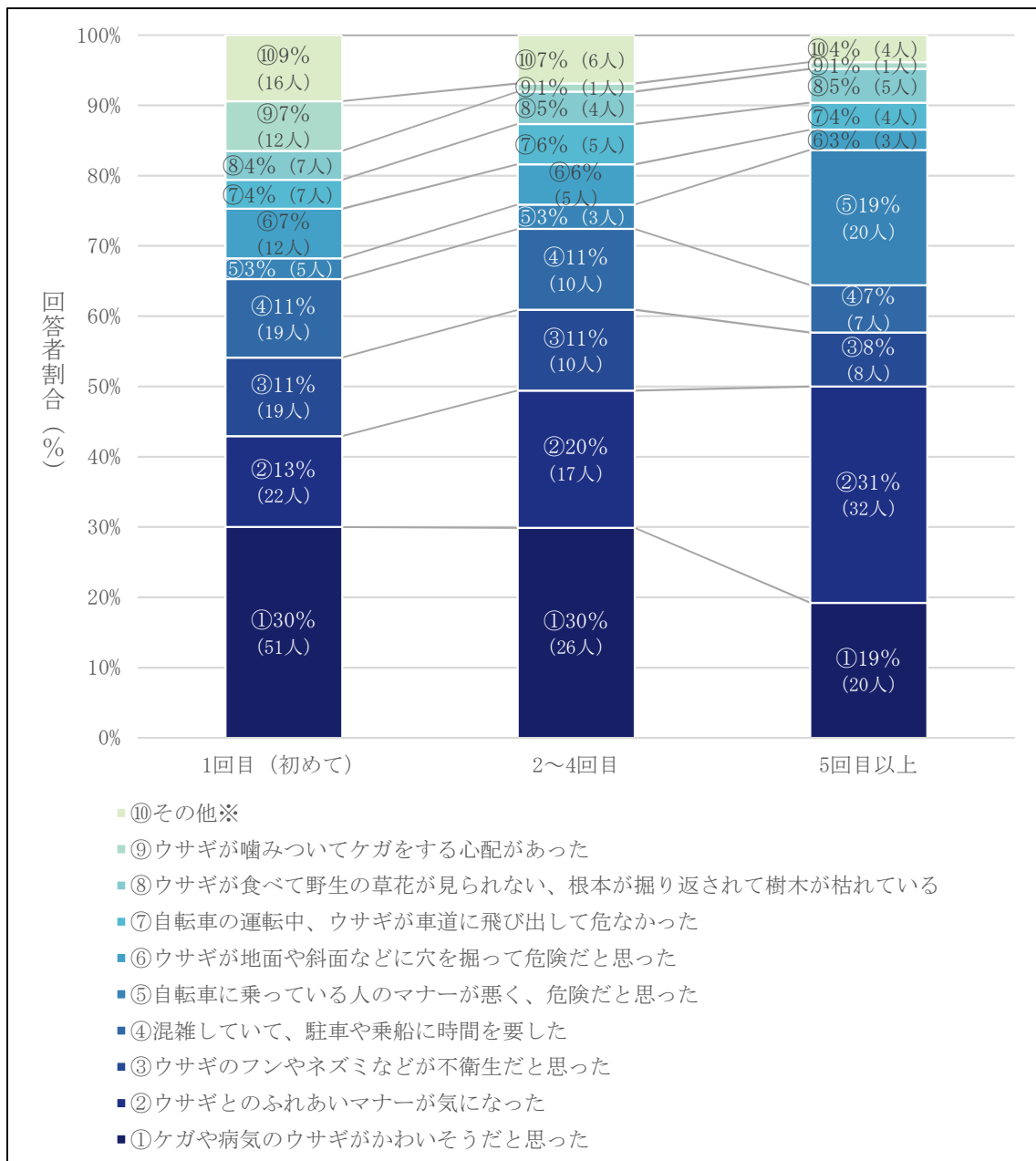


図 16 来島回数別の気になったことの傾向

※図 16 (来島回数別の気になったことの傾向) の「その他」の回答内容

来島回数	その他の回答内容
1回目 (初めて)	<ul style="list-style-type: none"> ・使用されてない階段の老化、立ち入り禁止場所の多さ ・ウサギにスーパーで買った野菜をあげている方がいらっしやったのですが生のサツマイモのようなものを持っていて気になりました。あげるエサについての注意喚起を増やして頂きたいです。 ・ウサギが思ったより少ない。 ・立入禁止の場があるが理由がわからないこと ・ネズミが出てきた。 ・船の本数が少ない。 ・裏手にゴミが多かった。 ・もっと他の砲台なども見たかった。 ・特になし・今のままで良い (8人)
2～4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・船の人の愛想のなさ ・工事がずっと続いている。 ・禁止看板が多く見た目がイマイチ ・観光客が多い。 ・休暇村の建物の外にネズミが2匹いた。増えないか心配。 ・特になし・今のままで良い (5人)
5回目以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ウサギの数が増えた分、エサとなる野生の草花等が減った。 ・夜イノシシが走っていた。危険に思いました。 ・届け出なしの撮影、ドローン、芝生内焚火 タバコのポイ捨て、犬等ペット連れの上陸、観光客のマナーが悪すぎて驚く (毎回) ・ネズミの菌がこわいです。 ・特になし・今のままで良い (4人)

3-8. ルール・マナーに関する意識

設問
<p>問6：島内のルールやマナーについてお聞きします。島内やフェリー内に掲示してある、ウサギとのふれあいや自転車利用等の注意看板やポスターについてどう思われましたか。また、追加した方が良くと思ったルールがあれば、「その他」にご記入ください。</p> <p>①必要なルールなので、もっと積極的にアピールすべき。 ②ルールやマナーは必要ない。 ③内容が分かりにくかった。 ④看板やポスターに気がついたけど、読まなかった。 ⑤看板やポスターに気がつかなかった。 ⑥その他（ ）</p>

◆回答者全体の結果

島内やフェリー内に掲示してあるウサギとのふれあいや自転車利用等の注意看板やポスターについて、回答者（260人）の約65%が「必要なルールのため、もっと積極的にアピールすべき」と回答した（図17）。なお、本項目については、1者当たり選択上限を定めていない。また、37件の無回答は、選択肢に当てはまる事項がなかったためであることが考えられる。

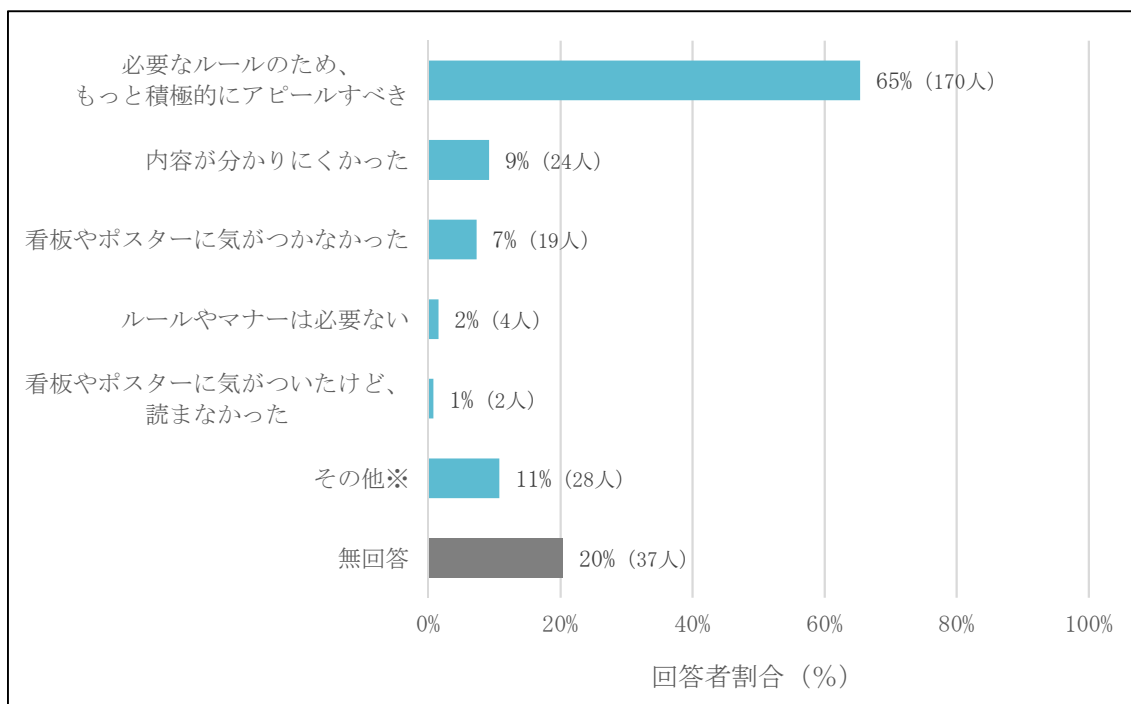


図17 ルール・マナーに関する意識

※図 17 (ルール・マナーに関する意識) の「その他」の回答内容

- ・ウサギもっとたくさん
- ・えさの種類、禁止の理由
- ・ゴミのポイ捨てに関して
- ・なんでダメなのか理由も必要だと思う。
- ・CM がダサい。
- ・英語、中国語表記必要
- ・日本語だけでなく、外国人にも分かりやすい表記、絵での表記があるとよい。
- ・フェリー内で注意事項を放送しているが、エンジン音で殆ど聞こえないし、誰も注意して聞いていない様子。フェリー内でもっとルールや注意事項を周知すべき。
- ・車道の中のエサやり、ペレットは喉が渇く。
- ・注意看板の図を増やせば目に留まりやすいかも知れません。外国人観光客にも。
- ・ドローン、タバコ禁止 (火事になったらどうするのか)、ペット連れ、サイクリングの禁止
- ・もっと強くダメをはっきりアピールした方が良いと考えます。
- ・気が付きにくい、色が地味
- ・自転車降車が守られていないです。
- ・「道路でエサやりをすると道路にウサギが出てきて車にひかれることがある」と書くべき。
- ・ペレットか野菜はカラスやネズミも食べる為、チモシーやアルファルファなど牧草をウサギに与えるようにアピールすればどうか？
- ・看板に気づかない人が多い。
- ・子ウサギがいるので巣穴には近づかない。子供の管理は親が責任を持つ。ウサギに与えたらダメな食材をしっかりと見つく。

◆来島回数別の意識の傾向

無回答を除く回答者（223人）のルール・マナーについての意識を来島回数別に比較したところ、来島回数が多くなるほど、「看板やポスターに気がつかなかった」や「特になし・今のままで良い」と回答する人の割合が少なくなり、「必要なルールのため、もっと積極的にアピールすべき」と回答する人の割合が多くなった（図18）。

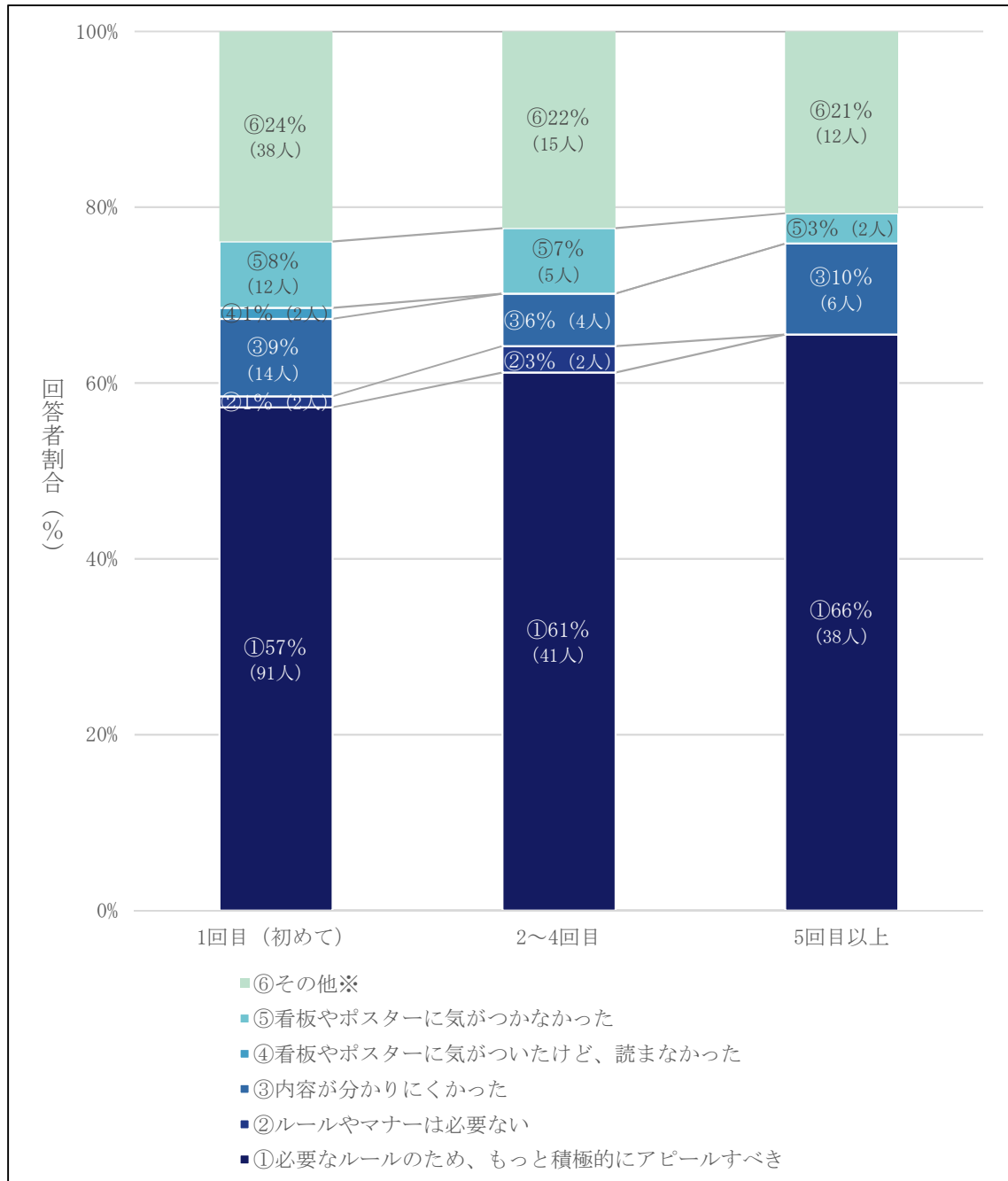


図 18 来島回数別のルール・マナーに対する意識の傾向

※図 18 (来島回数別のルール・マナーに対する意識の傾向) の「その他」の回答内容

来島回数	その他の回答内容
1回目 (初めて)	<ul style="list-style-type: none"> ・ウサギもっとたくさん ・ゴミのポイ捨てに関して ・日本語だけでなく、外国人にも分かりやすい表記、絵での表記があるとよい ・注意看板の図を増やせば目に留まりやすいかも知れません。外国人観光客にも ・特になし・今のままで良い (9人)
2～4回目	<ul style="list-style-type: none"> ・えさの種類、禁止の理由 ・CMがダサい。 ・フェリー内で注意事項を放送しているが、エンジン音で殆ど聞こえないし、誰も注意して聞いていない様子。フェリー内でもっとルールや注意事項を周知すべき。 ・車道の中のエサやり、ペレットは喉が渇く ・気が付きにくい、色が地味 ・「道路でエサやりをすると道路にウサギが出てきて車にひかれることがある」と書くべき。 ・ペレットか野菜はカラスやネズミも食べる為、チモシーやアルファルファなど牧草をウサギに与えるようにアピールすればどうか？ ・特になし・今のままで良い (2人)
5回目以上	<ul style="list-style-type: none"> ・なんでダメなのか理由も必要だと思う。 ・英語、中国語表記必要 ・ドローン、タバコ禁止 (火事になったらどうするのか)、ペット連れ、サイクリングの禁止 ・もっと強くダメをはっきりアピールした方が良いと考えます。 ・自転車降車が守られていません。 ・看板に気づかない人が多い。 ・子ウサギがいるので巣穴には近づかない。子供の管理は親が責任を持つ。ウサギに与えたらダメな食材をしっかりと見つ。

3-9. ウサギのエサやりに対する意識

設問	
問7：大久野島のウサギにエサを与えることについて、どのように考えておられますか。賛成・反対・条件付き賛成の方は当てはまると思う理由1つに○をしてください。	
①賛成	
①エサを与えないとウサギが死んでしまうため。	
②ウサギへのエサやりは大久野島の観光資源として重要であるため。	
③ウサギへのエサやりは楽しいため。	
④その他（	）
②反対	
①ウサギの数が増えすぎているため。	
②放置されたウサギのエサが不衛生であるため。	
③動物にむやみにエサを与えるのは良くないと思うため。	
④その他（	）
③条件付き賛成	
①エサの量を決めるなら良い。	
②エサやり場を決めるなら良い。	
③ウサギの個体数や健康状態の把握をするなら良い。	
④その他（	）
④どちらとも言えない	
理由（	）

◆回答者全体の結果

ウサギにエサを与えることについて、「賛成」は186人（約62%）、「条件付き賛成」は86人（約29%）、「反対」は21人（約7%）、「どちらともいえない」は4人（約1%）、無回答2人（約1%）であり、「条件付き賛成」も含めるとウサギのエサやりに対し好意的な意識を持っている人は90%以上であった（図19）。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が30件含まれる。これらは、アンケート用紙を上部から読み込む際に、「賛成」「反対」「条件付き賛成」に記載された選択理由について、各々当てはまる事項を選択したことが要因の1つとして考えられる。

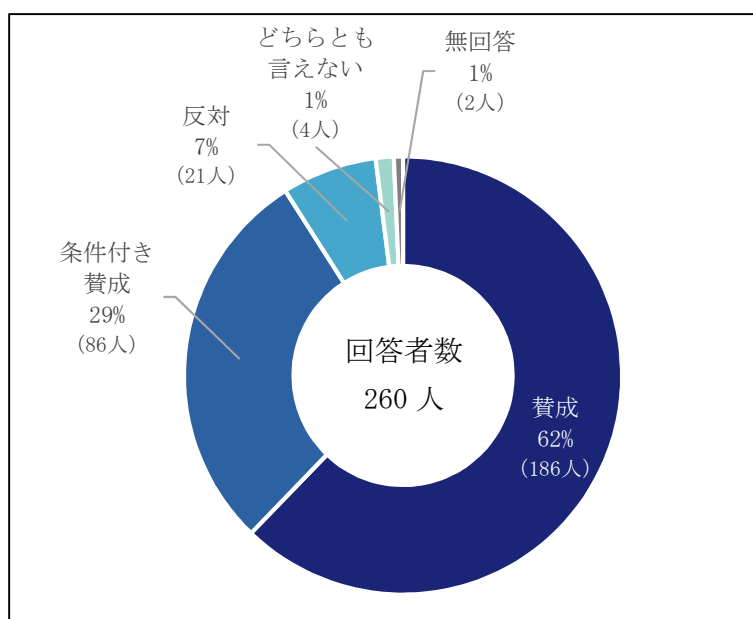


図19 エサやりに対する意識

◆意識と居住地

ウサギへのエサやりに対する意識について回答者（260人）の居住地で比較したところ、「賛成」と回答した人は広島県内に居住する回答者の割合が多かったが、「賛成」及び「条件付き賛成」を含めると広島県内外で大きな違いは見られなかった（図20）。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が30件含まれる。

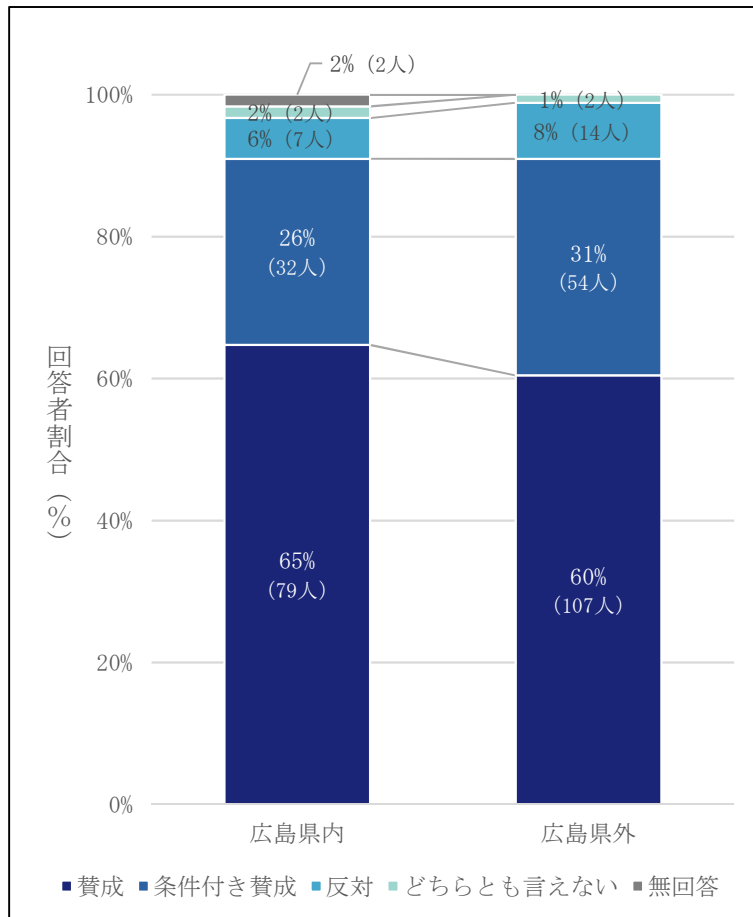


図20 居住地（広島県内外）別の意識

◆年代別のエサやりへの意識の傾向

ウサギへのエサやりに対する意識について回答者（260人）の年代別に比較したところ、「賛成」と回答した人は10代が最も多かったが、20代から30代にかけて減少する傾向にあり、30代から60代にかけては増加する傾向であった（図21）。「反対」と回答した人は、30代と40代が他の年代より多い傾向が見られた。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が30件含まれる。

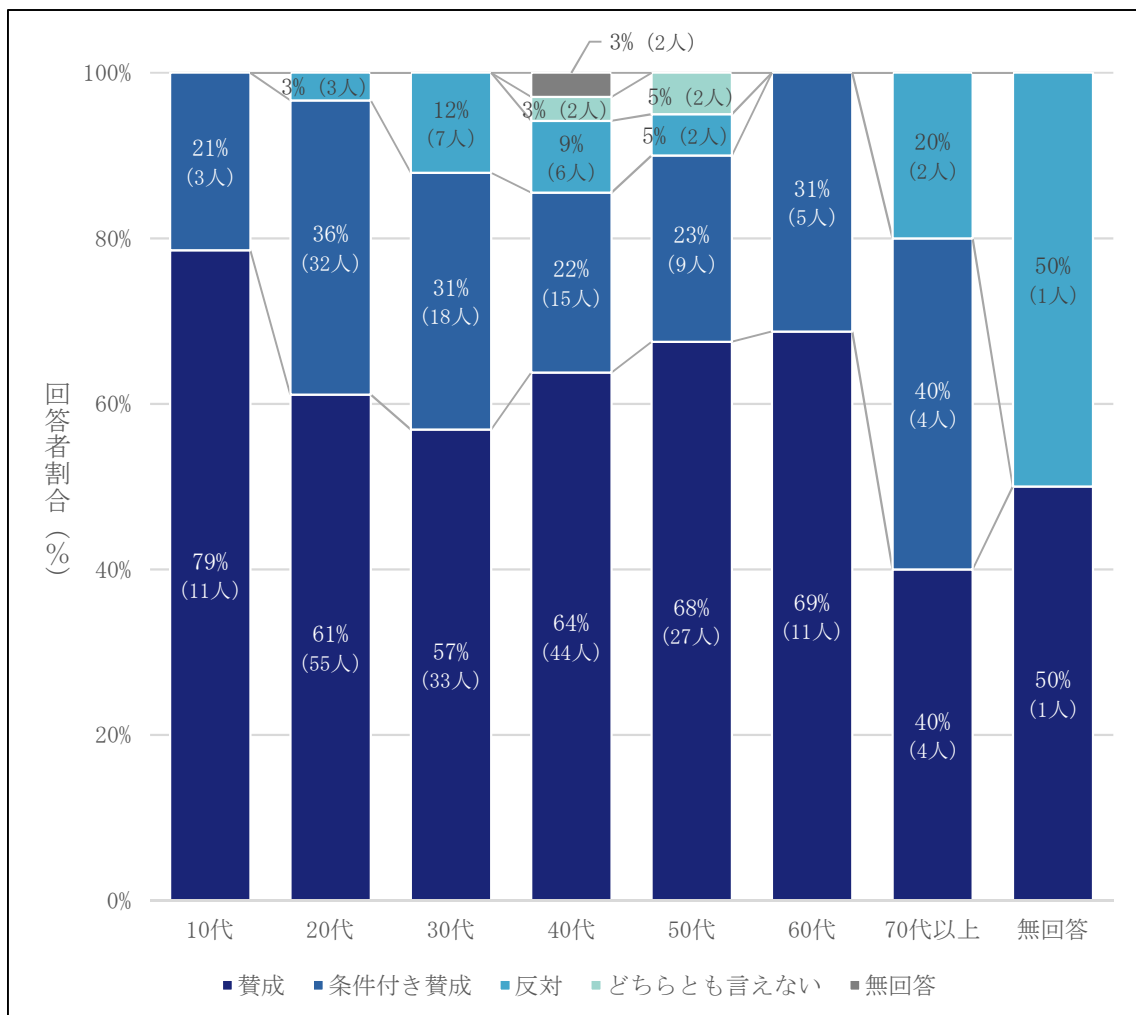


図 21 年代別の意識

◆来島目的別のエサやりへの意識の傾向

ウサギへのエサやりに対する意識について回答者（回答者数が10人未満となるアウトドア及びその他の来島目的を除外した258人）の来島目的別に比較したところ、どの来島目的を選んだ人もエサやりへの意識に大きな違いは見られなかった（図22）。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が30件含まれる。

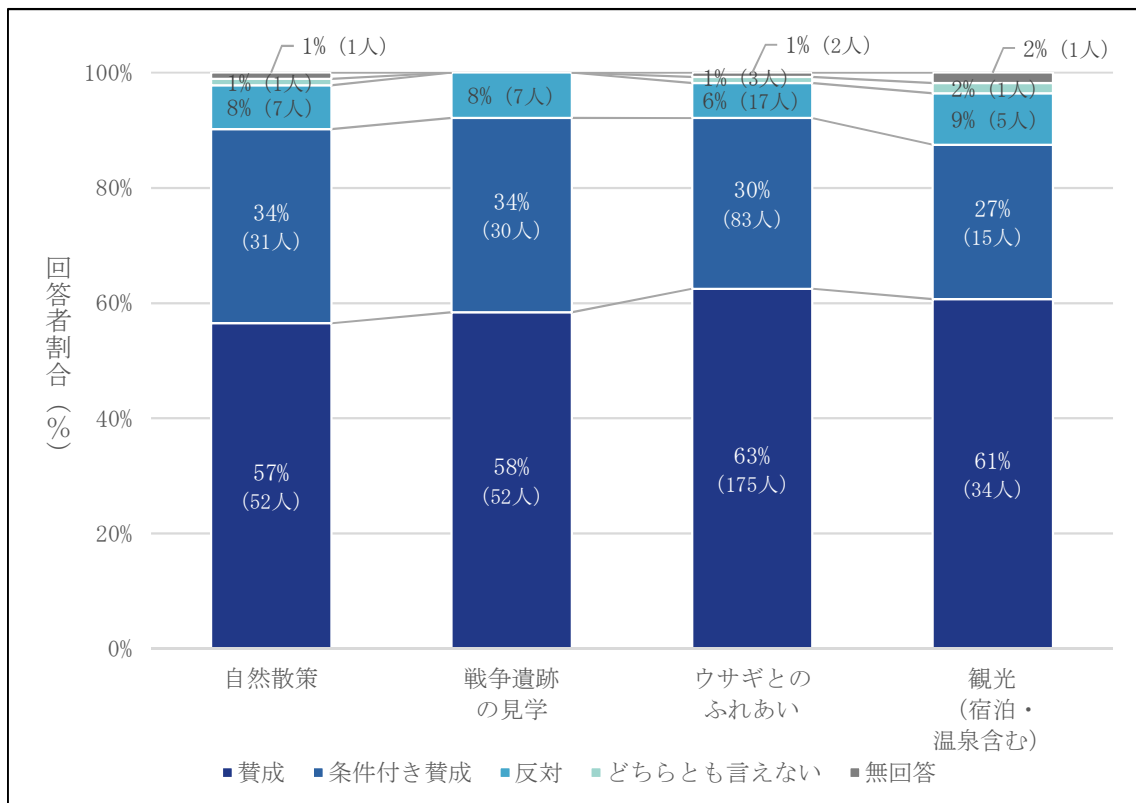


図 22 来島目的別の意識

※図 22（来島目的別の意識）の「その他」の回答内容

意見	その他の回答内容
賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・彼女との和解 ・写真 ・外国人訪問客接待の為の下見 ・送別会 ・うさぎの撮影のため ・うさぎの安否確認、水入れ、ご飯
条件付き賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・夕日とうさぎの写真を
反対	<ul style="list-style-type: none"> ・リピーター仲間
どちらとも言えない	<ul style="list-style-type: none"> ・観察

◆来島した感想（気になったこと）別のエサやりへの意識の傾向

ウサギへのエサやりに対する意識について回答者（260人）の来島した感想（気になったこと）別に比較したところ、「混雑していて、駐車や乗船に時間を要した」と回答した人は、他の感想を選んだ人よりエサやりに対して「反対」の割合が高い傾向が見られた。（図 23）。一方で、「ウサギが嘔みついてケガをする心配があった」と回答した人のうち 86%（13人）がエサやり「賛成」または「条件付き賛成」を選ぶ等、来島した感想としてウサギに対してマイナスの印象を持ったと回答した人であっても、エサやりに対する否定的な傾向は見られなかった。また、「その他」や「無回答」（選択肢に該当する感想がなかったと思われる方等）を回答した人が「賛成」または「条件付き賛成」を選んだ割合は、他の感想を選んだ人の割合より高い傾向も見られた。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が30件含まれる。

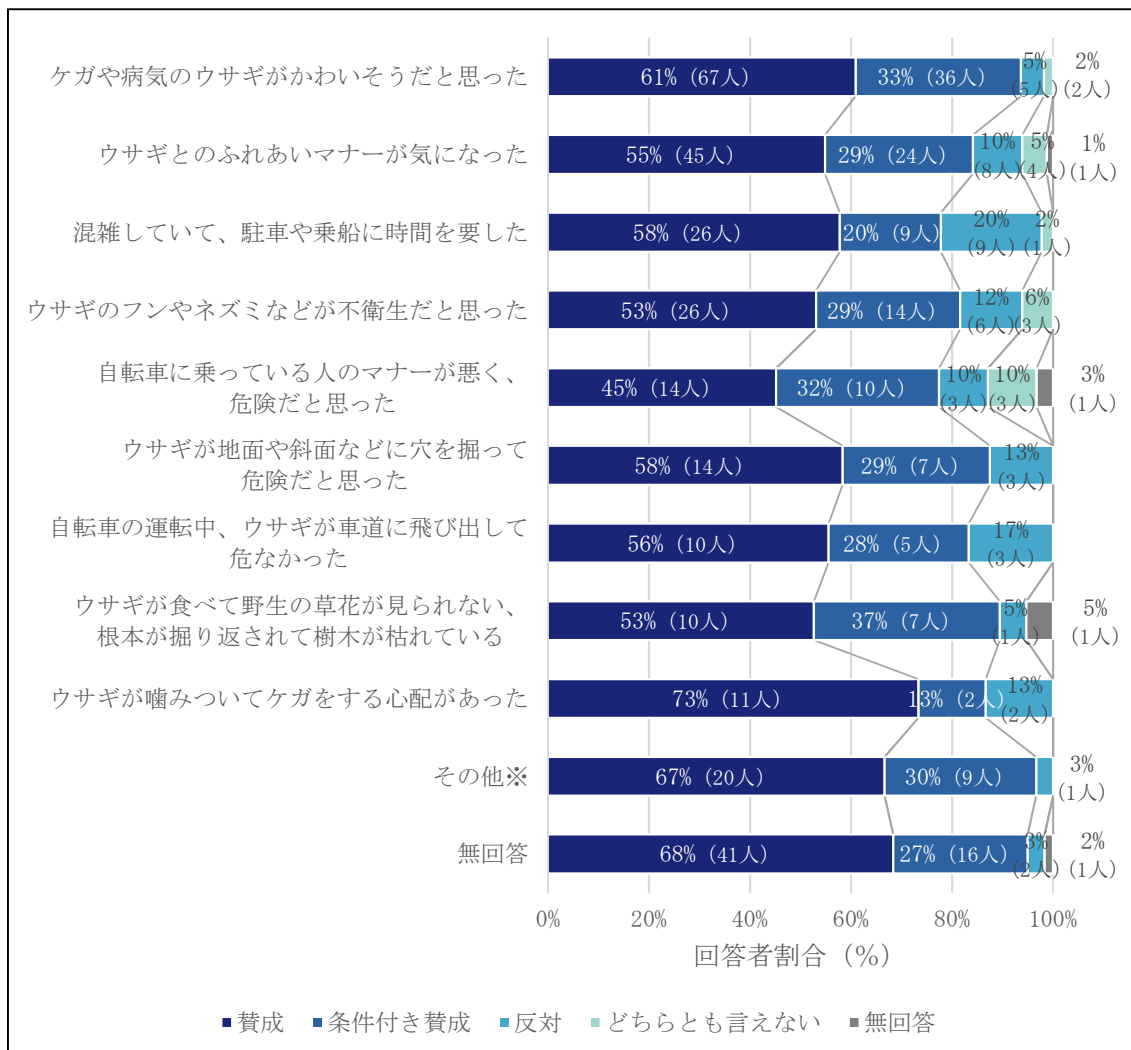


図 23 意識と気になったこと

※図 23 (意識と気になったこと) の「その他」の回答内容

意見	その他の回答内容
賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・工事がずっと続いている。 ・禁止看板が多く見た目がイマイチ ・使用されてない階段の老化、立ち入り禁止場所の多さ ・立入禁止の場があるが理由がわからないこと ・観光客が多い。 ・ウサギの数が増えた分、エサとなる野生の草花等が減った。 ・夜イノシシが走っていた。危険に思いました。 ・ネズミが出てきた。 ・船の本数が少ない。 ・休暇村の建物の外にネズミが2匹いた、増えないか心配 ・裏手にゴミが多かった。 ・もっと他の砲台なども見たかった。 ・ネズミの菌がこわいです。
条件付き賛成	<ul style="list-style-type: none"> ・船の人の愛想のなさ ・ウサギにスーパーで買った野菜をあげている方がいらっしゃったのですが生のサツマイモのようなものを持っていて気になりました。あげるエサについての注意喚起を増やして頂きたいです。 ・ウサギが思ったより少ない。 ・ネズミが出てきた。 ・裏手にゴミが多かった。 ・届け出なしの撮影、ドローン、芝生内焚火 タバコのポイ捨て、犬等ペット連れの上陸、観光客のマナーが悪すぎて驚く(毎回)。
反対	<ul style="list-style-type: none"> ・船の人の愛想のなさ
どちらとも 言えない	<ul style="list-style-type: none"> ・あげてはいけない餌の禁止(ねぎ、いも、パン、菓子)を徹底

◆ 選択の理由

【賛成】

「賛成」を選択した回答者（186人）の選択理由は、「ウサギへのエサやりは楽しいため」が最も多く、次いで「ウサギへのエサやりは大久野島の観光資源として重要であるため」であった（図 24）。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が10件含まれる。

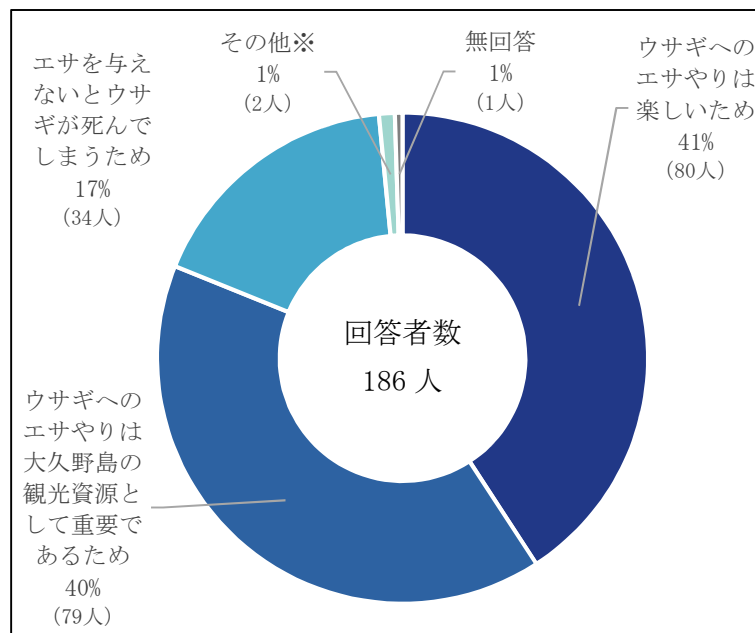


図 24 「賛成」の理由

※図 24（「賛成」の理由）の「その他」の回答内容

- ・一度餌付けをしたら継続すべき
- ・エサの種類で注意すべき物を知らせる事が必要と思う。

【条件付き賛成】

「条件付き賛成」を選択した回答者（86人）の選択理由は、「ウサギの個体数や健康状態を把握するなら良い」が最も多く、次いで「エサの量を決めるなら良い」であった（図 25）。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が5件含まれる。

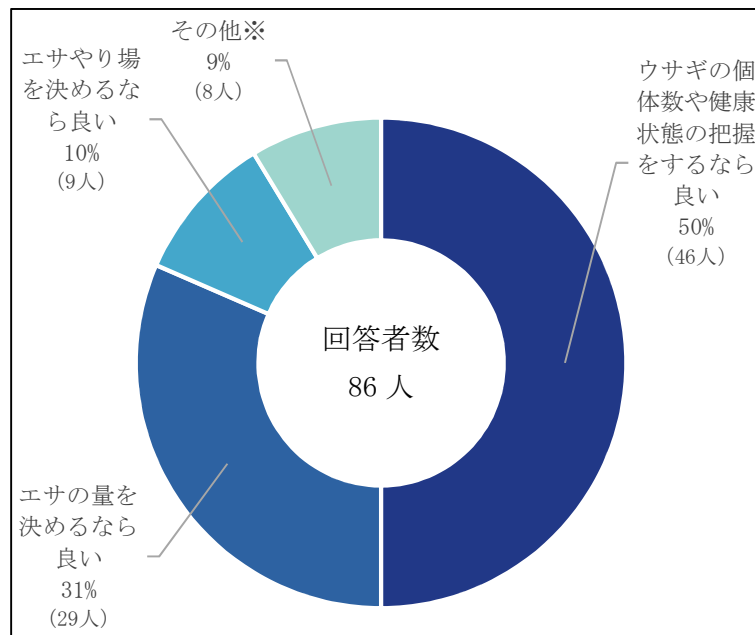


図 25 「条件付き賛成」の理由

※図 25（「条件付き賛成」の理由）の「その他」の回答内容

- ・食べ残しが腐ったりするのが心配です。
- ・与えるエサがウサギにとって安全であるならば良い。
- ・エサやりとしてはウサギは大切な資源だから良いが、ルールやエサ場所などもその場で売っているものにするのが良い。
- ・あげるエサによる。
- ・決まったエサのみにする。持ち込み禁止など
- ・あげてはいけない餌の禁止（ねぎ、いも、パン、菓子）を徹底
- ・草が不足する冬に限り、自然の草に近い牧草を与えるのは良いと思う。
- ・エサが余っている時は必ず持ち帰るようにする。

【反対】

「反対」を選択した回答者（21人）の選択理由は、「放置されたウサギのエサが不衛生であるため」が最も多く、次いで「動物にむやみにエサを与えるのは良くないと思うため」であった（図 26）。「その他」の回答はなかった。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が2件含まれる。

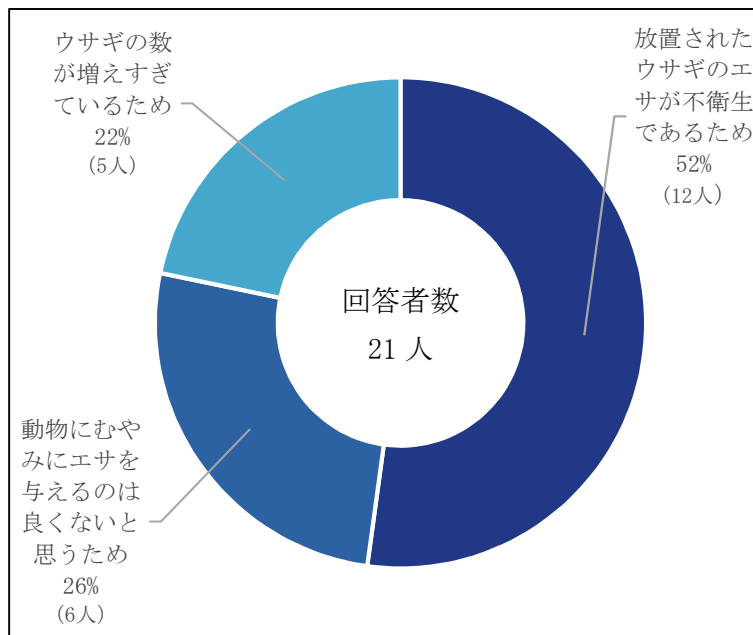


図 26 「反対」の理由

【どちらともいえない】

「どちらともいえない」を選択した回答者（4人）の選択理由は、表 4 の通りである。

表 4 「どちらともいえない」の理由

- ・自然のままが良いとは思いますが、観光資源なので何とも言えません。
- ・楽しむ程度でよいとは思いますがエサをあげる・あげないは個人の価値観なのでどちらでもいい。
- ・賛成ですが余ったら持ち帰ること
- ・実際食べ物にありつけず瀕死状態の子もいます。島全体に草など食べるものがあるなら別ですが、環境が悪すぎます。

◆来島回数別の意識の傾向

無回答を除く回答者（258人）のエサやりに対する意識を来島回数別に比較すると、来島回数が増えるほど「反対」や「どちらともいえない」といった回答が多くなった（図 27）。なお、本項目については、1者当たり1事項まで選択を可能としたが、2～3事項選択している回答が28件含まれる。

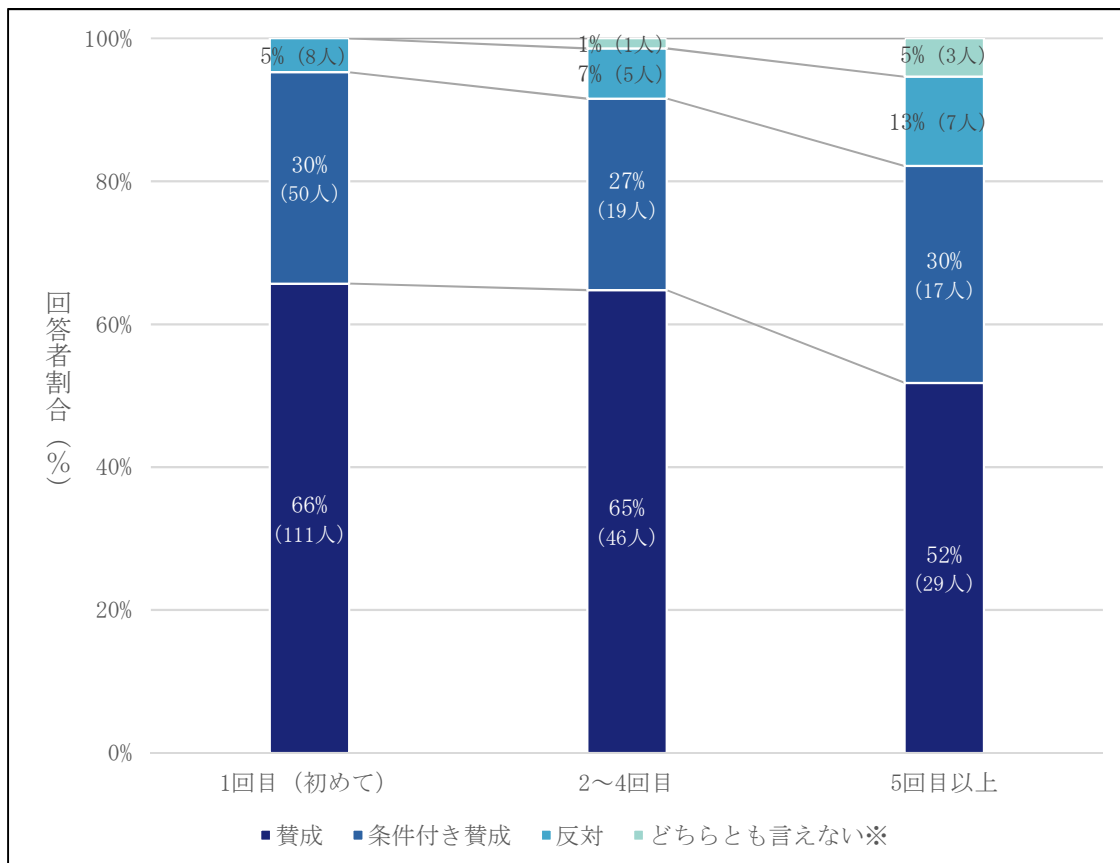


図 27 来島回数別のエサやりに対する意識の傾向

※図 27（来島回数別のエサやりに対する意識の傾向）の「どちらともいえない」の回答内容

来島回数	その他の回答内容
2～4回目	・楽しむ程度でよいと思うけどエサをあげる・あげないは個人の価値観なのでどちらでもいい
5回目以上	・自然のままがいいと思うが、観光資源なので何とも言えません。 ・賛成ですが余ったら持ち帰ること ・実際食べ物にありつけず瀕死状態の子もいます。島全体に草など食べるものがあるなら別ですが、環境が悪すぎます

◆保護活動者の意識

ウサギの保護を目的に来島する回答者(24人)は、保護を目的とせず来島する回答者(234人(無回答を除く))に比べ、「反対」の回答の割合は少ないが、「どちらともいえない」の回答の割合が多かった(図28)。

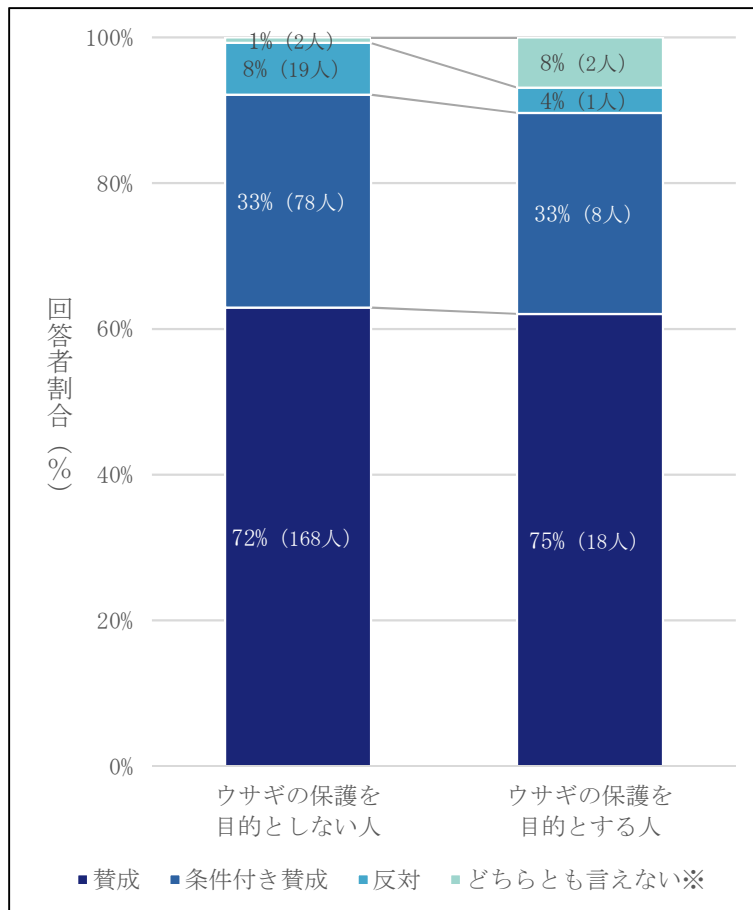


図 28 保護活動者の意識

※図 28 (保護活動者の意識) の「どちらともいえない」の回答内容

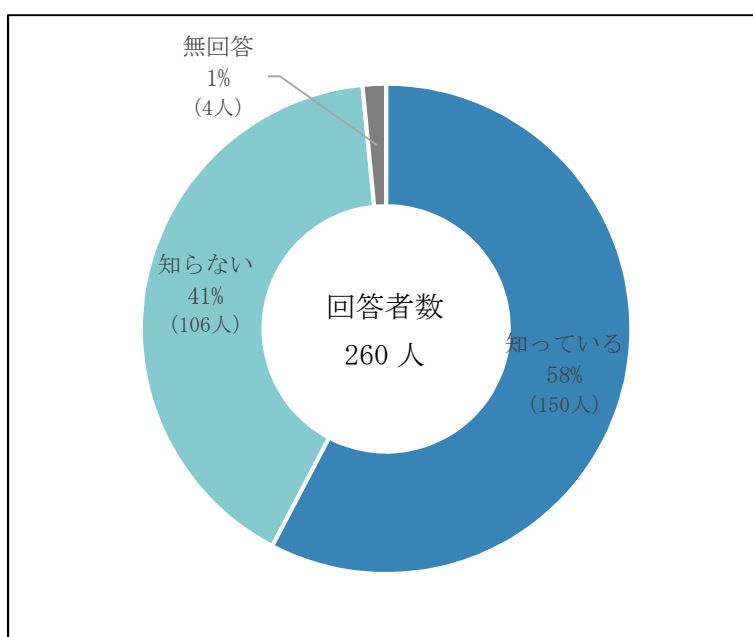
保護活動の有無	その他の回答内容
ウサギの保護を目的としない人	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しむ程度でよいと思うけどエサをあげる・あげないは個人の価値観なのでどちらでもいい。 ・自然のままがいいと思うが、観光資源なので何とも言えません。
ウサギの保護を目的とする人	<ul style="list-style-type: none"> ・賛成ですが余ったら持ち帰ること ・実際食べ物にありつけず瀕死状態の子もいます。島全体に草など食べるものがあるなら別ですが、環境が悪すぎます。

3-10. 瀬戸内海国立公園の認知度

設問
問8：大久野島が瀬戸内海国立公園の一部であることをご存じですか。 ①はい ②いいえ

◆回答者全体の認知度

大久野島が瀬戸内海国立公園の一部であることについて、「知っている」を選択した回答者は150人（約58%）、「知らない」を選択した回答者は106人（約41%）であった。



瀬戸内海国立公園であることの認知度

◆来島回数別の認知度

回答者（来島1回目（初めて）155人、2～4回目60人、5回目以上45人）の来島回数別の瀬戸内海国立公園の認知度を比較したところ、来島回数が多くなるほど「知っている」と回答する人の割合が多くなった（図29）。

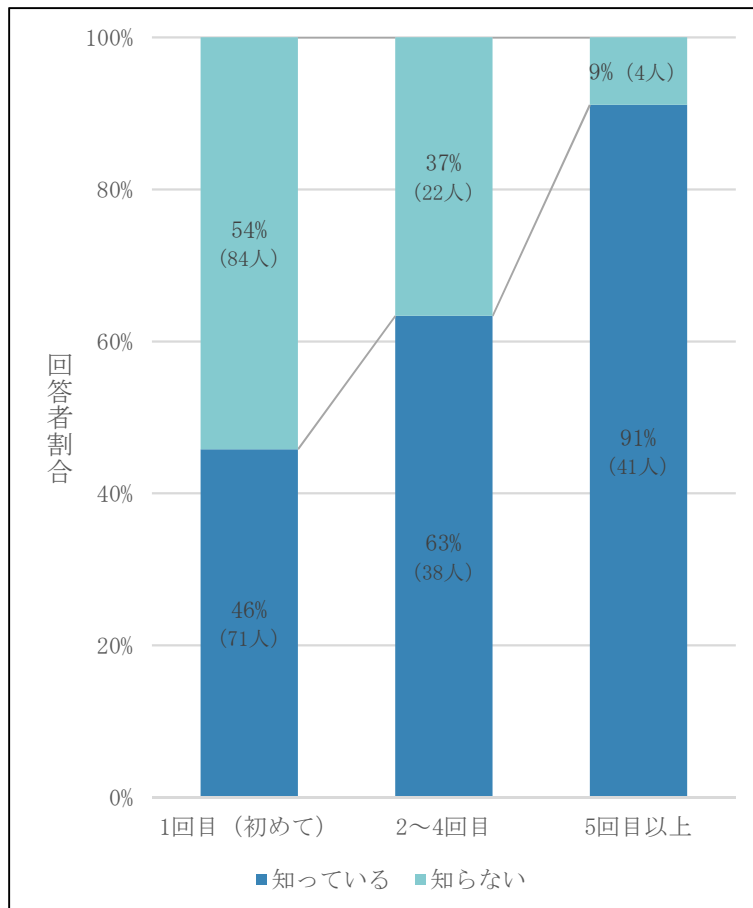


図 29 来島回数別の認知度

3-11. 大久野島に関する意見や感想など(自由記述)

◆意見

【交通アクセス等】

主な意見	
・フェリー便数の不足	・駐車場の不足
・アクセスの明確化（駅や空港での案内、フェリー乗り場での時刻表）	

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・フェリー乗り場に時刻表があるといいなと思いました。
- ・交通手段、時刻表などアピールして欲しい。
- ・駅から分かりにくい、歩きにくい、空港で説明できていない、時間が分からない。
- ・鉄道と船との連絡についての情報がより分かりやすくなるとより良い。

◎来島回数：2～4回目

- ・船便はもう少し充実しているとさらに良いです。
- ・フェリーの便数がもう少し増えたらいい。
- ・大型フェリーの係の人が怖かった。

◎来島回数：5回目以上

- ・駐車場の数が少ない。
- ・駐車場（土日のみ）足りてない。アオハタにおいでいる人がいる。

【施設・設備等】

主な意見	
・外国語対応	・トイレの整備
・島内ルールの周知	・売店の整備

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・島に渡る前に港にあった注意掲示板が古くて小さい。修理したりする予定はないのでしょうか？
- ・船着き場の売店は誰もいなかった。
- ・カフェがあるとよいな～。

◎来島回数：2～4回目

- ・忠海港のトイレの整備がもう少し出来ていればと思います。
- ・捨てられているごみが多い。

◎来島回数：5回目以上

- ・店やホテルの外国語対応（メニュー、道など）
- ・ウサギの為にも観光客の為にも島のルールをもっと伝えるべき。
- ・チケット売り場のトイレが汚い。荷物掛けがない。
- ・宿を綺麗にして欲しい。

【ウサギ】

主な意見	
・観光客の多い時期における入島制限	・エサのやり方の周知
・水入れの撤去	・ウサギの管理

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・水入れかエサ入れの様なものが島のあちこちに転がっていて管理出来ていないと思います。ウサギの為かも知れませんが不衛生で逆に悪いと思います。
- ・ウサギの数の多さにびっくりした。ホテルの人に聞いてみたが過剰な管理はされていない様子。それはそれでいいと思いますが、島に来ている人の好き勝手が今の状態を作っているのでは。
- ・自然のまま島で生きているウサギが見られると思って来ましたが、少し違いました。ウサギ好きが高じて SNS とかで島の状況を配信している方々がありますが、あのような人達の過保護な振る舞いが、人慣れしているウサギを作るのではないかと思います。
- ・ウサギのエサは売らない方がいい。自然のままがいいです。
- ・水桶が汚い！不要！！
- ・エサ入れの様なものは誰かが勝手に持って来たんでしょうか？また来たいと思う島ですが、ウサギ小屋とか勝手に建てたり置いて帰ってもいいんでしょうか？

◎来島回数：2～4回目

- ・道路でエサをやっている外国人がいた。
- ・民営化にして入園料、宿泊料などを、ウサギ達の飼育・保全などに充てて運営して頂きたい。

◎来島回数：5回目以上

- ・ウサギのことを最優先に考えてほしいです。
- ・車道を人が歩くから道路でのエサやりが発生するので歩行者専用道を作るべき。
- ・エサの残った物の掃除係の人がいた方がよい。
- ・エサのやり過ぎ、エサのやり方を考えて欲しい。
- ・観光客が来る時期に偏りがある為、観光客が多い時期にウサギが増加し、観光客の少ない冬にウサギ同士で殺し合いになっている。
- ・虐待目的(ウサギ)の上陸阻止の為の防犯カメラを棧橋に付けて下さい。GWや夏休み等入島制限して下さい。

- ・大久野島への目的にウサギとのふれあいをと来島される方が殆どだと。そのウサギの環境が悪いというのはどうなのでしょう。食べ物、飲み水 etc…。自然の食べ物があればのども潤うでしょう、でも現状は違います。観光の目玉であるウサギの管理を奈良のシカのようには無理でしょうか？ケガしている子の保護出来るような鹿苑のような施設やえさ場、水の確保、ウサギの生態をよく知っている方々との話し合いであの子たちの暮らしが少しでも楽になるよう検討して頂きたいです。命を全うした子たちが土の中で眠っています。土にかえるまでの土壌の汚染から何かしらの感染症もあるかもしれません。そろそろ火葬も検討した方が良くと思います。
- ・島でエサ売ってません。売って下さい。

【その他動物】

主な意見
・イノシシ、ネズミ、ネコ、カラス等の駆除

◎来島回数：5回目以上

- ・イノシシとネズミと猫の駆除をお願いしたいです。
- ・イノシシの駆除、猫の駆除をして欲しいです。ネズミは至急に！！駆除
- ・カラスやイノシシ駆除もお願いします。今年今出没しているイノシシはかなり凶暴です。いつ人間に被害を与えるか分かりません。夜に広場を走り回っています。昨年のように昼間も出てくるようになるかもです。早めの対策希望します。長々書きましたがよろしくお願いします。

【戦争遺跡・自然環境】

主な意見
・山道、立入禁止エリアの修繕、整備 ・戦争遺跡の宣伝 ・レンタサイクルの禁止

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・見学立ち入りできない遺跡もあったので、安全面確保等の理由もあるだろうが、全て見られたらよかった。
- ・ウサギだけのような印象で来たが自然や散策路、廃墟なども大変素敵であったのでそういった方面のアピールもされるといいかもしれません。
- ・毒ガス資料館やもっと戦争遺跡をアピールすべき。
- ・毒ガス資料館の時間に間に合わず残念でした。
- ・山道がもう少し歩きやすいと嬉しい。（整備してほしい。）
- ・立ち入り禁止区域だらけだった。

◎来島回数：2～4回目

- ・レンタサイクルは必要ないと思う。無ければ無いで楽しむことができる。(自然をゆっくり感じる事が出来るから)

◎来島回数：5回目以上

- ・展望台に上がれるようにして下さい。
- ・歩いて回った方が一時間半位で回れるので自転車は無くした方が良いと思う。もっとウサギを大事にした方がいいと思う。
- ・レンタサイクル禁止

【その他】

主な意見	
・夏季の対策	・宣伝方法の検討

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・夏はとても暑いと思うので途中でテントを設けるなどの対策が必要なのかも・・・。
- ・思った以上にうさぎが沢山見られた。リピーターを作るにはイベントの工夫がもう少し欲しい。

◎来島回数：2～4回目

- ・CMはダサいけど、あとは全て良かった。

◎来島回数：5回目以上

- ・国立公園であることのアピールは必要かと思います。色々な規則。
- ・職員に対して、ウサギのことについていろいろ言わないでほしい。

◆感想

【自然環境】

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・景色がいいです。
- ・サイクリングした際の海が綺麗でした。また訪れたいと思います。
- ・自然が多く残っていて良い。
- ・自然に触れられて、心が癒されてとても良かったです。
- ・自然が多くて良かった。

◎来島回数：5回目以上

- ・自然の中でのんびり過ごす。又瀬戸内海の自然。

【ウサギ】

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・ウサギかわいかったです。
- ・こんなに沢山ウサギがいると思いませんでした。とっても楽しかったです！
- ・子供がエサやり等楽しく過ごせました。
- ・楽しかったし、ウサギのマナーが良かった。可愛かった。

◎来島回数：2～4回目

- ・以前よりウサギが減っているのは寒いからですか？
- ・最初車がピーピーうるさく感じたが、ウサギに配慮されているなと感心しました。

【その他】

◎来島回数：1回目（初めて）

- ・すごく楽しかった。また来ます。
- ・初めて来ましたが周りの人たちもルールを守って楽しんでいると感じました。のんびりと島内を散策出来て楽しいです。
- ・楽しめました。
- ・とても楽しめました。
- ・とても癒されます。昔の辛い時代の上に美しい時代が来たことに感動しています。
- ・家族でのんびり過ごせて良かったです。
- ・可愛かったです。ありがとうございました。
- ・すごく良いところなのでまた来たいです。今度は島に宿泊してみたいです。
- ・とても楽しく過ごせました。

- ・インターネットでえさの残骸とかが酷いように書かれていたが、ゴミも臭いも無く綺麗な島でした。
- ・天気も良くレンタサイクルでリフレッシュ出来ました。
- ・バスの運転手さんが丁寧で優しかった。

◎来島回数：2～4回目

- ・ウサギと毒ガスの両方を上手くアピールできると平和教育にもなり、観光地としても良いと思います。
- ・みんなで楽しめてゆっくり出来てとてもいいです。
- ・楽しいところだと思いました。大事にしたいです。

◎来島回数：5回目以上

- ・県外の友人が広島へ来てもう一度行ってみたい観光先は？と聞いたら「大久野島」だと言いました。何か嬉しい気がしました。
- ・楽しかった！

資料編

・アンケート調査票

大久野島の利用に関するアンケート調査 調査票

- 設問は、選択肢の中からご自分の考えに最も近いものを選ぶ「選択式」です。あてはまる番号を選んで○で囲んでください。
- 設問によっては、1つではなく複数の選択肢を選んでいただく場合があります。
- 各設問の注意書きをよくご確認の上、お答えください。

○お住まいの地域：

- ① 広島県内（ 市・町・村） ② 広島県外（ 都・道・府・県）

○性別：① 女性 ② 男性 ③ その他

○年代：（ ）代

問1：今回は、どなたと来島されましたか。

- ① 個人 ② 家族 ③ カップル ④ 友人 ⑤ その他（ ）

問2：今まで大久野島に何回訪れたことがありますか？

- ① 初めて ② 2～4回 ③ 5回以上

問2-1：問2で大久野島に複数回、訪れたことのある方にお伺いします。

平均して大久野島に何回程度訪れていますか？

- ①（ ）回／月 ②（ ）回／年 ③ その他（ ）

問3：今回、大久野島を訪れた目的について、当てはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- ① 自然散策 ② キャンプや魚釣りなどアウトドア ③ 戦争遺跡の見学
④ ウサギとのふれあい ⑤ 観光（宿泊・温泉含む）
⑥ その他（ ）

問3-1：問3で「④ウサギとのふれあい」を目的に選んだ方にお伺いします。

特にどのようなことを楽しみに訪問されましたか。当てはまるものを

3つまで選んで○をつけてください。

- ① ウサギの様子を眺める
② エサやり
③ 写真撮影
④ ウサギを直接さわったり抱っこする
⑤ ウサギの保護活動（定期的な島内の見回り、エサやり、水やりなど）
⑥ その他（ ）

問4：大久野島を訪れてみて、良かったと思うことを3つまで選んで○をつけてください。

- ① 瀬戸内海の自然の風景を見ることができた。
- ② 自然の中でのんびり過ごすことができた。
- ③ 戦争や毒ガスについて学ぶことができた。
- ④ ウサギとふれあうことができて楽しかった。
- ⑤ おいしい食事や温泉を満喫できて、ゆっくりすることができた。
- ⑥ その他 ()

問5：大久野島を訪れてみて、気になったと思うことを3つまで選んで○をつけてください。

- ① 混雑していて、駐車や乗船に時間を要した。
- ② 自転車に乗っている人のマナーが悪く、危険だと思った。
- ③ 自転車の運転中、ウサギが車道に飛び出して危なかった。
- ④ ウサギとのふれあいマナーが気になった（車道でのエサやり、エサの放置、ウサギの抱っこなど）。
- ⑤ ウサギが噛みついてケガをする心配があった。
- ⑥ ウサギのフンやネズミなどが不衛生だと思った。
- ⑦ ケガや病気のウサギがかわいそうだと思った。
- ⑧ ウサギが食べて野生の草花が見られない、根元が掘り返され樹木が枯れている。
- ⑨ ウサギが地面や斜面などに穴を掘って危険だと思った。
- ⑩ その他 ()

問6：島内のルールやマナーについてお聞きします。

島内やフェリー内に掲示してある、ウサギとのふれあいや自転車利用等の注意看板やポスターについてどう思われましたか。また、追加した方が良かったルールがあれば、「その他」にご記入ください。

- ① 必要なルールなので、もっと積極的にアピールすべき。
- ② ルールやマナーは必要ない。
- ③ 内容が分かりにくかった。
- ④ 看板やポスターに気がついたけど、読まなかった。
- ⑤ 看板やポスターに気がつかなかった。
- ⑥ その他 ()

問7：大久野島のウサギにエサを与えることについて、どのように考えておられますか。賛成・反対・条件付き賛成の方は当てはまると思う理由 1つに○をしてください。

①賛成

- ① エサを与えないとウサギが死んでしまうため。
- ② ウサギへのエサやりは大久野島の観光資源として重要であるため。
- ③ ウサギへのエサやりは楽しいため。
- ④ その他 ()

②反対

- ① ウサギの数が増えすぎているため。
- ② 放置されたウサギのエサが不衛生であるため。
- ③ 動物にむやみにエサを与えるのは良くないと思うため。
- ④ その他 ()

③条件付き賛成

- ① エサの量を決めるなら良い。
- ② エサやり場を決めるなら良い。
- ③ ウサギの個体数や健康状態の把握をするなら良い。
- ④ その他 ()

④どちらとも言えない 理由 ()

問8：大久野島が瀬戸内海国立公園の一部であることをご存じですか。

- ①はい
- ②いいえ

問9：上記以外に、大久野島に関するご意見、ご感想などございましたら、自由にご記入ください。(自由記述)

ご回答ありがとうございました。